

**応急仮設住宅・災害公営住宅  
生活環境調査【6回目】  
報告書  
(2014年2月調査実施)**

**2014年3月31日**

**岩手県連携復興会議  
特定非営利活動法人いわて連携復興センター**

# ○実施概要

## ○実施目的

応急仮設住宅および災害公営住宅にお住まいの世帯ごとの皆様の生活の状況を調査し、沿岸被災地における生活課題を明らかにし、改善につなげることを目的とする。

## ○実施枠組

<実施主体> 特定非営利活動法人いわて連携復興センター

<協力> 岩手県復興局生活再建課 調査実施市町村

## ○実施スケジュール

2014年2月8日～2月17日 調査票の配布(関係団体・支援員事業との連携)

2014年3月10日まで 調査票の回収

## ○対象

宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市 各仮設住宅の20%程度へ配布(無作為)

※仮設団地の戸数を考慮し、全仮設住宅団地を対象にした2段階の抽出

仮設支援員、支援団体等による配布と郵送による回収

## ○補足調査

大槌町、釜石市、大船渡市の災害公営住宅への全戸配布(空室を除く)

## ○回収数

市町村名	団地数	戸数	抽出数	抽出率	回答者数	回収率
宮古	62	2,010	319	15.9%	111	34.8%
山田	49	1,950	333	17.1%	137	41.1%
大槌	48	2,146	344	16.0%	156	45.3%
釜石	50	3,164	484	15.3%	220	45.5%
大船渡	37	1,811	264	14.6%	113	42.8%
陸前高田	53	2,168	354	16.3%	147	41.5%
総計	299	13,249	2,098	15.8%	884	42.1%
災害公営住宅	8	374	287	76.7%	88	30.7%

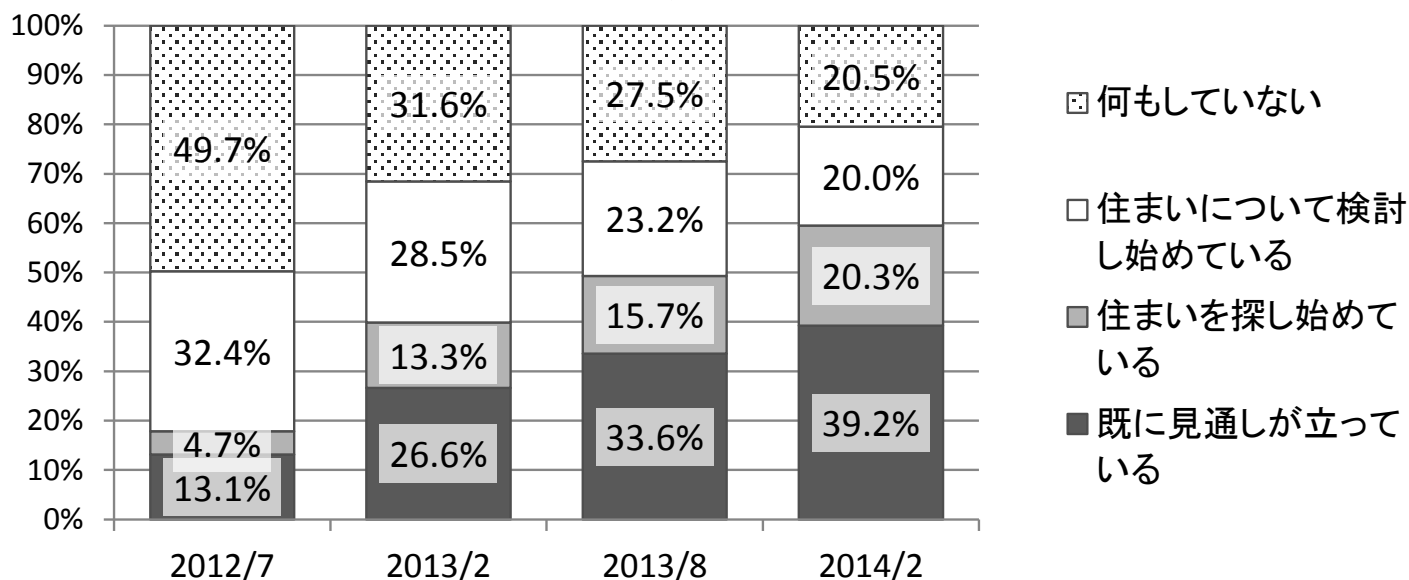
# ○キーメッセージ① 住まいの見通しが立っている世帯の割合は増加傾向にある。

## ○住まいの見通しの傾向

・今後の住まいの見通しについて質問を行った。

・既に見通しが立っている割合がこの1年増加傾向にあり、既に見通しが立っていると回答した割合が39.2%となっている。

### 住まいの見通しの比較



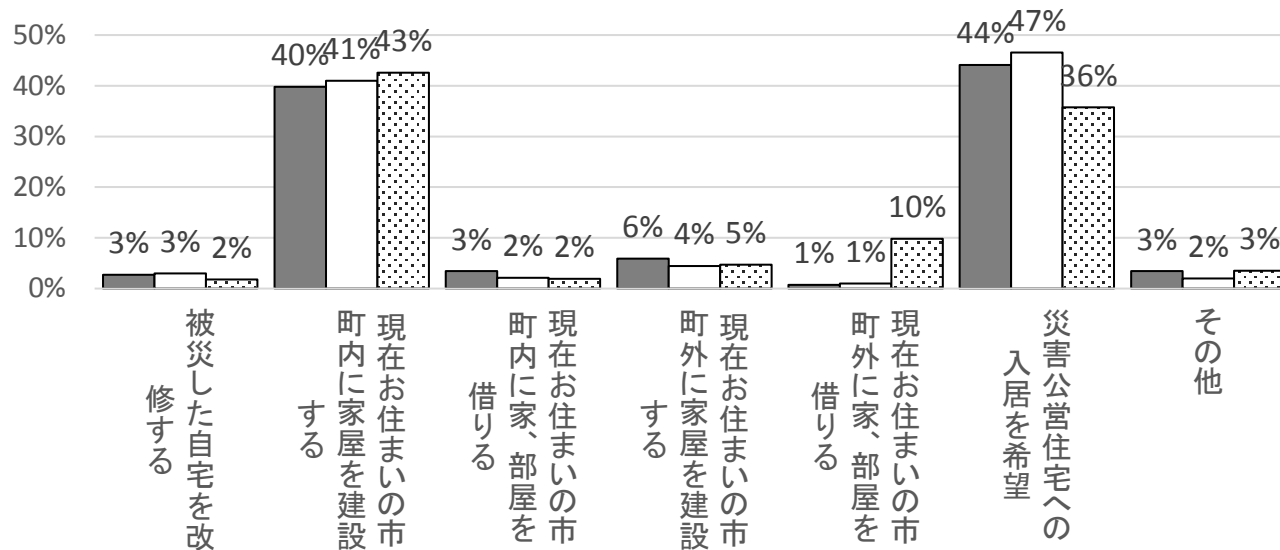
住まいの見通し	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性			2013/2	2013/8	2014/2
	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2			
既に見通しが立っている	20%	24%	27%	15%	30%	40%	24%	35%	42%	20%	32%	37%	25%	37%	38%	34%	39%	40%	33%	38%	42%	39%	35%	46%	27%	34%	39%
住まいを探し始めている	14%	14%	27%	16%	13%	11%	13%	18%	22%	7%	16%	17%	21%	17%	24%	9%	15%	17%	12%	17%	23%	8%	15%	23%	13%	16%	20%
住まいについて検討し始めている	42%	30%	20%	34%	29%	26%	28%	22%	23%	32%	21%	17%	24%	20%	22%	28%	24%	20%	20%	19%	18%	24%	19%	12%	29%	23%	20%
何もしていない	24%	32%	27%	34%	27%	22%	35%	25%	12%	41%	30%	29%	30%	26%	17%	29%	22%	23%	35%	26%	17%	29%	30%	18%	32%	28%	20%
回答者数	74	167	60	97	235	72	83	202	73	56	165	63	105	246	106	76	190	86	81	208	93	62	188	65	684	1778	630

## ○キーメッセージ② 具体的な住まいの見通しは災害公営が減少傾向

### ○具体的な住まいの見通しの傾向

- ・住まいの見通しについて、「既に見通しがたっている」「探し始めている」の回答者に具体的な今後の住まいの見通しについて質問を行った。
- ・前回までの調査と比較し、災害公営住宅への入居を希望している割合が36%と減少傾向にある。また、現在住んでいる市町村外に家、部屋を借りると回答した割合が、前回調査では1%であったのに対し、10%と増加している。

住まいの具体的な見通し



■ 2013/2 □ 2013/8 ▨ 2014/2

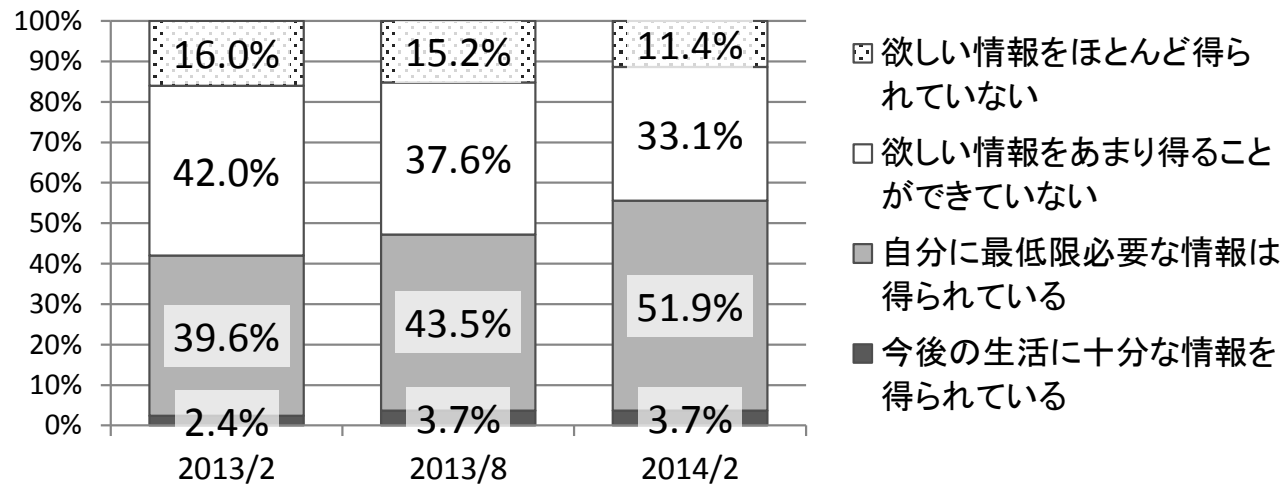
具体的な住まいの見通し	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
被災した自宅を改修する	2.6%	0.0%	1.8%	2.9%	1.1%	1.4%	1.7%	2.7%	1.7%
現在お住まいの市町内に家屋を建設する	47.4%	35.6%	50.9%	58.8%	45.1%	28.2%	47.9%	35.1%	42.6%
現在お住まいの市町内に家、部屋を借りる	0.0%	4.4%	7.3%	0.0%	1.1%	1.4%	1.7%	0.0%	1.9%
現在お住まいの市町外に家屋を建設する	5.3%	4.4%	5.5%	2.9%	5.5%	4.2%	5.1%	3.6%	4.7%
現在お住まいの市町外に家、部屋を借りる	15.8%	13.3%	3.6%	11.8%	8.8%	15.5%	9.4%	5.4%	9.8%
災害公営住宅への入居を希望	26.3%	40.0%	23.6%	20.6%	35.2%	39.4%	34.2%	50.5%	35.8%
その他	2.6%	2.2%	7.3%	2.9%	3.3%	9.9%	0.0%	2.7%	3.5%
回答者数	38	45	55	34	91	71	117	111	573

# ○キーメッセージ③ 情報満足度は向上しているが、45%は、十分ではないと評価

## ○情報満足度

- ・生活再建のために必要な情報への満足度について質問した。
- ・情報満足度においては、増加傾向にあり、「十分な情報が得られている」、または「最低限の情報が得られている」と回答した割合が3回目の調査で初めて半数を超えた。
- ・しかし、44.5%が「欲しい情報をあまり得ることができていない」、あるいは「ほとんど得られていない」と評価している。

### 情報満足度



情報満足度	40代以下						50代						60代						70代以上						全体					
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性			全体					
	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2			
今後の生活に十分な情報を得られている	3%	6%	3%	1%	3%	6%	2%	6%	5%	3%	2%	2%	2%	3%	2%	2%	2%	3%	4%	3%	5%	5%	3%	2%	2%	2%	2%	2%	4%	4%
自分に最低限必要な情報は得られている	45%	37%	46%	39%	49%	45%	39%	45%	54%	40%	46%	55%	38%	50%	54%	44%	44%	49%	40%	40%	50%	36%	43%	60%	40%	44%	52%			
欲しい情報をあまり得ることができていない	35%	43%	41%	42%	35%	44%	46%	35%	24%	37%	37%	33%	43%	34%	32%	39%	38%	37%	42%	38%	32%	44%	38%	28%	42%	38%	33%			
欲しい情報をほとんど得られていない	17%	14%	10%	17%	13%	5%	12%	14%	18%	20%	14%	11%	17%	13%	12%	15%	15%	10%	15%	17%	12%	17%	17%	11%	16%	15%	11%			
回答者数	75	171	69	99	238	80	84	212	84	60	183	64	118	296	132	93	254	108	112	298	151	107	290	132	836	2191	837			

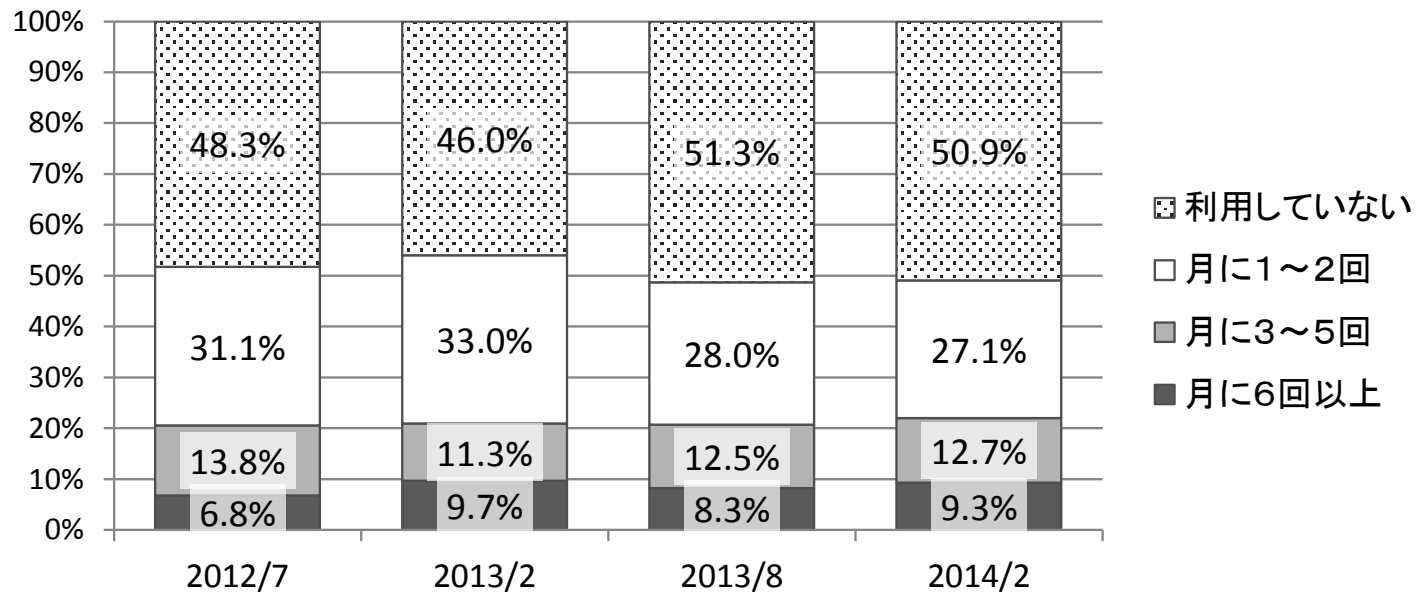
# ○キーメッセージ④ 集会所・談話室を「利用していない」人が半数を超える

## ○集会所・談話室の利用状況

・団地内の集会所、談話室の利用状況に関して質問した。

・仮設住宅団地における集会所・談話室を「利用していない」と回答した割合が、2013年8月調査から継続して50%を超えている。

### 集会所・談話室の利用頻度



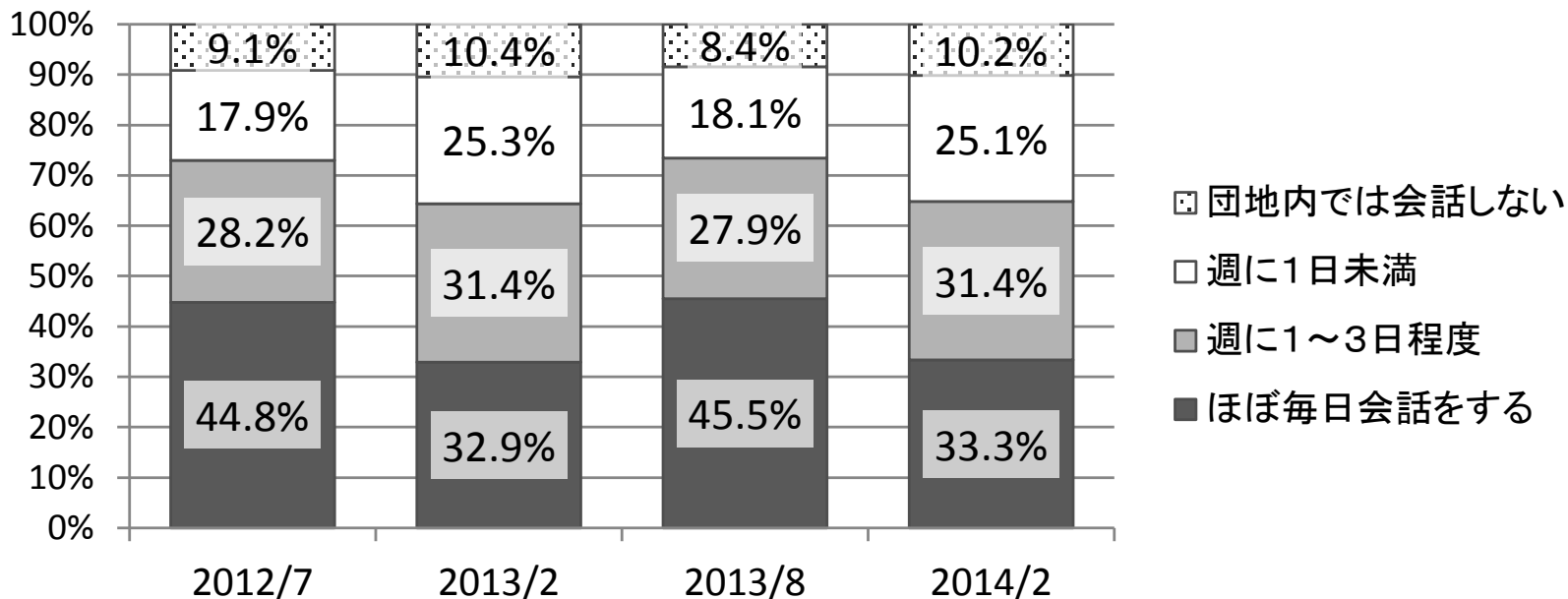
集会所利用状況	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性					
	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8	2012/7	2013/2	2013/8
月に6回以上	2%	4%	2%	3%	5%	2%	3%	4%	3%	5%	7%	6%	6%	6%	3%	9%	5%	11%	9%	21%	13%	13%	19%	19%	7%	10%	8%
月に3~5回	3%	8%	4%	3%	6%	4%	8%	1%	4%	6%	5%	7%	12%	10%	12%	17%	15%	14%	18%	14%	17%	27%	21%	24%	14%	11%	12%
月に1~2回	19%	21%	16%	21%	17%	16%	24%	30%	16%	33%	34%	20%	33%	38%	31%	37%	48%	34%	39%	39%	40%	36%	31%	35%	31%	33%	28%
利用していない	76%	67%	78%	73%	72%	77%	65%	65%	77%	56%	54%	67%	49%	46%	55%	37%	32%	41%	33%	26%	30%	25%	30%	23%	48%	46%	51%
回答者数	266	73	171	462	101	242	235	82	212	309	59	177	387	121	311	379	94	249	417	117	301	485	111	301	3275	839	2222

# ○キーメッセージ⑤ 冬期間は会話機会が減少傾向にある

## ○団地内における会話頻度

・団地内における会話頻度は、2013年2月調査、2014年2月調査とも、8月の調査と比較し低い傾向にあり、冬季では特にほぼ毎日会話すると回答する割合が減少傾向となる。

### 団地内における会話頻度の比較



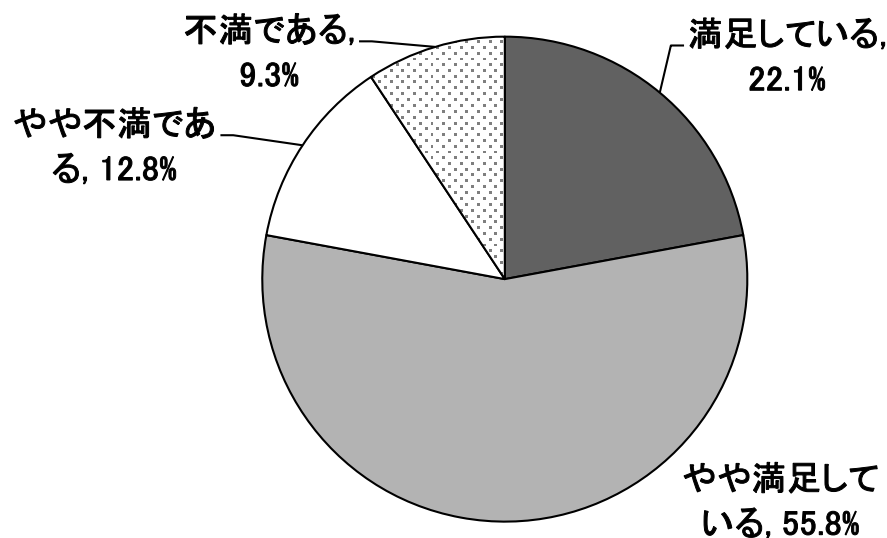
団地内での会話頻度	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性											
	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2			
ほぼ毎日会話をする	23%	25%	21%	21%	27%	17%	21%	25%	20%	30%	41%	20%	30%	45%	33%	32%	56%	35%	41%	53%	43%	54%	64%	49%	33%	46%	33%
週に1~3日程度	33%	31%	21%	30%	35%	40%	28%	31%	32%	33%	27%	33%	31%	28%	30%	40%	22%	26%	30%	28%	37%	27%	28%	34%	31%	28%	31%
週に1日未満	30%	23%	38%	36%	28%	35%	34%	31%	32%	30%	23%	30%	29%	20%	22%	18%	16%	30%	21%	11%	18%	14%	5%	12%	25%	18%	25%
団地内では会話しない	14%	21%	21%	13%	10%	9%	17%	12%	15%	8%	9%	17%	10%	7%	14%	10%	7%	9%	8%	7%	2%	5%	3%	5%	10%	8%	10%
回答者数	73	179	68	102	248	81	87	217	84	64	183	64	125	319	132	100	260	116	118	316	150	117	320	134	875	2321	846

## ○キーメッセージ⑥ 災害公営住宅の満足度は高い

### ○災害公営住宅への満足度

・災害公営住宅の入居者へ、災害公営住宅での生活の満足度についての質問を行った。その結果、「満足している」が22.1%、「やや満足している」が55.8%であり、約8割が満足をしていた。

### 災害公営住宅の満足度



災害公営住宅の満足度	40代以下	50代	60代	70代以上	未回答	総計
満足している	0.0%	40.0%	23.5%	26.8%	0.0%	22.1%
やや満足している	42.9%	30.0%	70.6%	56.1%	100.0%	55.8%
やや不満である	35.7%	0.0%	5.9%	12.2%	0.0%	12.8%
不満である	21.4%	30.0%	0.0%	4.9%	0.0%	9.3%
回答者数	14	10	17	41	4	86



# ○キーメッセージ⑦ 災害公営住宅への入居理由の第1位は、「仮設を早く出たかった」

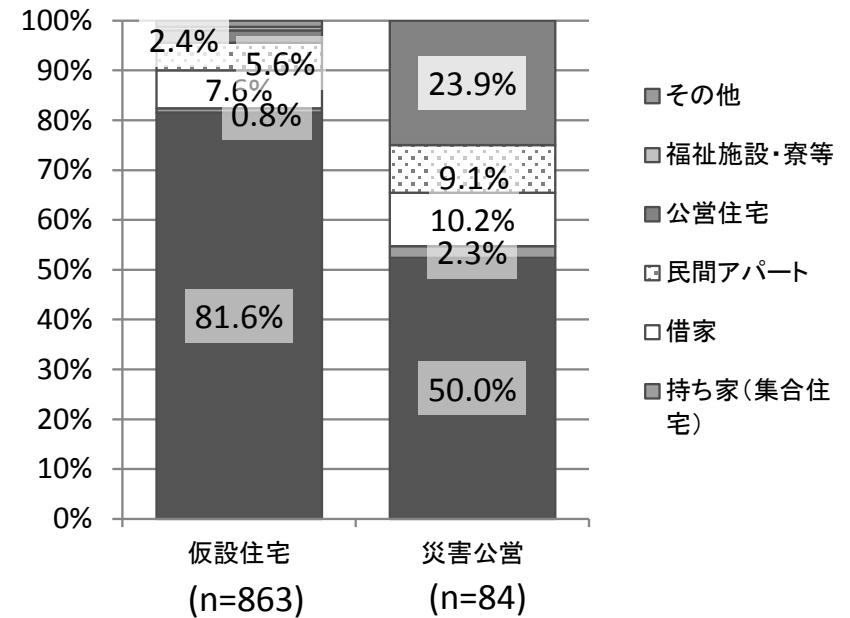
## ○東日本大震災前の住宅状況

・東日本大震災前の住宅状況を質問した。仮設住宅住民と比較し、災害公営住宅住民は、公営住宅に入居していた割合が高い。

## ○災害公営住宅への入居理由

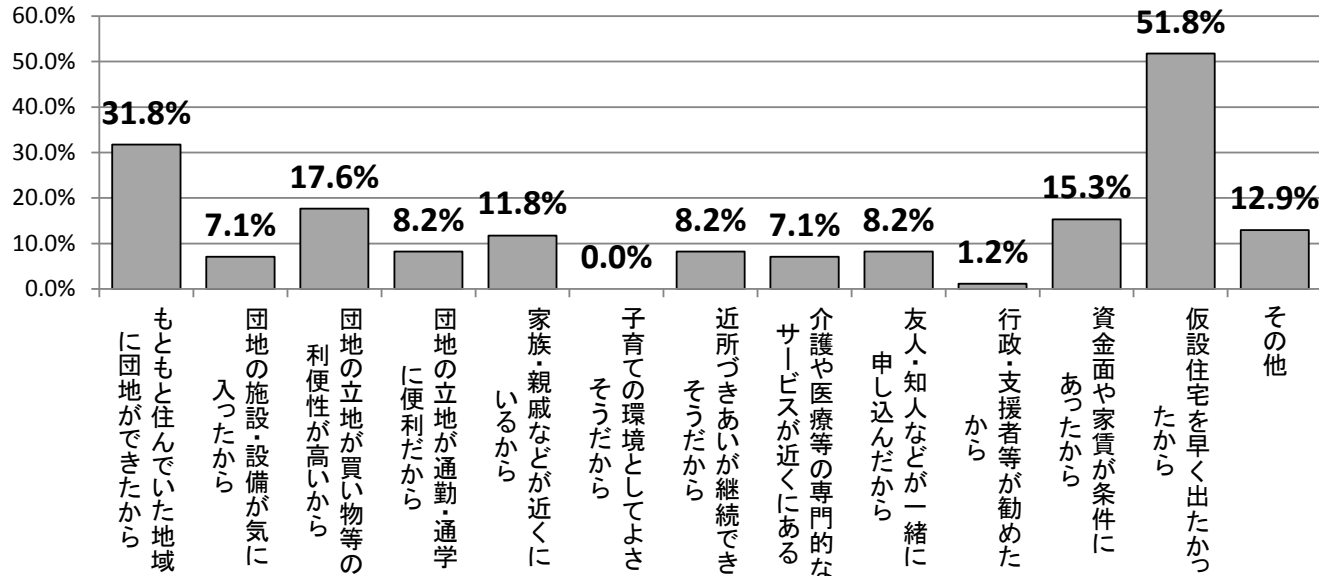
・災害公営住宅への入居理由を複数回答で質問した。その結果、「仮設住宅を早く出たかったから」が51.8%で最も高く、「もともと住んでいた地域に団地ができたから(31.8%)」、「団地の立地が買い物等の利便性が高いから(17.6%)」の順であった。

東日本大震災前の住居状況



(n=85)

災害公営住宅への入居理由

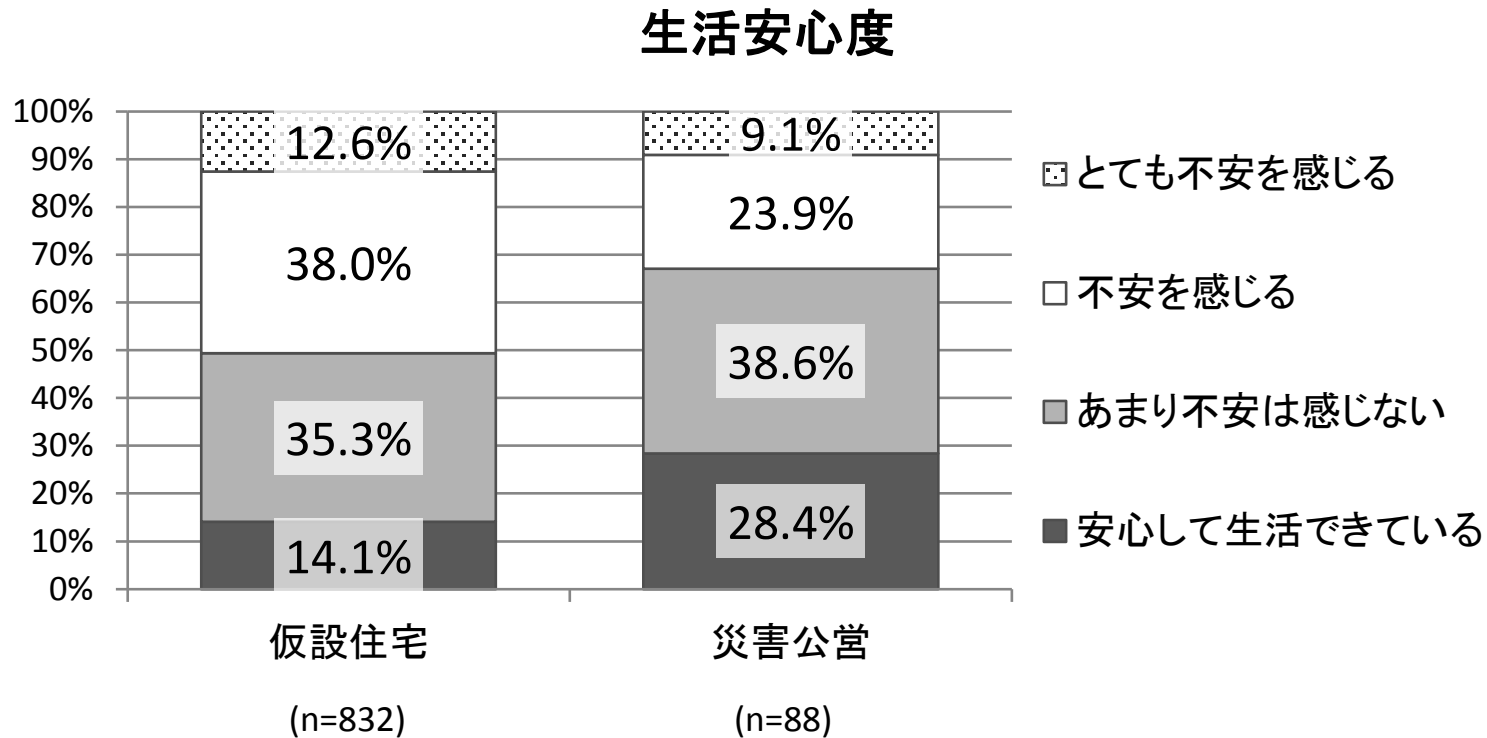


## ○キーメッセージ⑧ 災害公営住宅への入居者の生活安心度は高い

### ○生活の安心度

・生活への安心度に関して質問をした。

・仮設住宅では、「安心して生活できている」と回答した割合が14.1%であるのに対し、災害公営住宅が28.4%であり、「不安を感じる」、「とても不安を感じる」を合わせた割合は、仮設住宅が50.6%であるのに対して、33.0%となっており、災害公営住宅住民の方が比較的生活安心度が高い傾向にあった。



# ○キーメッセージ⑨ 災害公営住宅での会話頻度は少なくなっている。

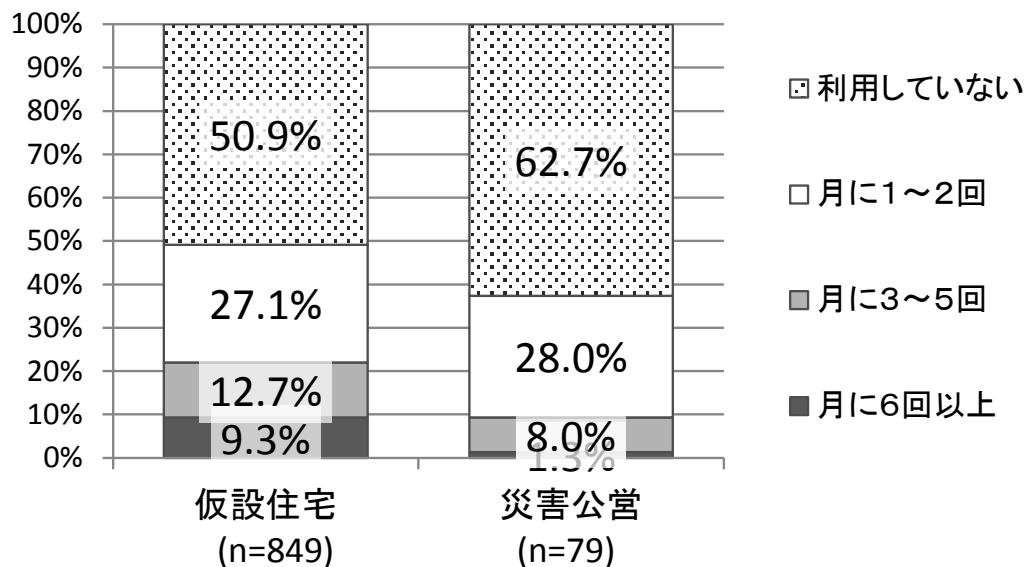
## ○集会所・談話室の利用頻度・会話頻度

・コミュニティの状況について、「集会所・談話室の利用状況」と「団地内の会話頻度」について質問した。  
 ・集会所・談話室の利用状況、団地内の会話頻度とも、仮設住宅と比較し、災害公営住宅が低い傾向となっている。

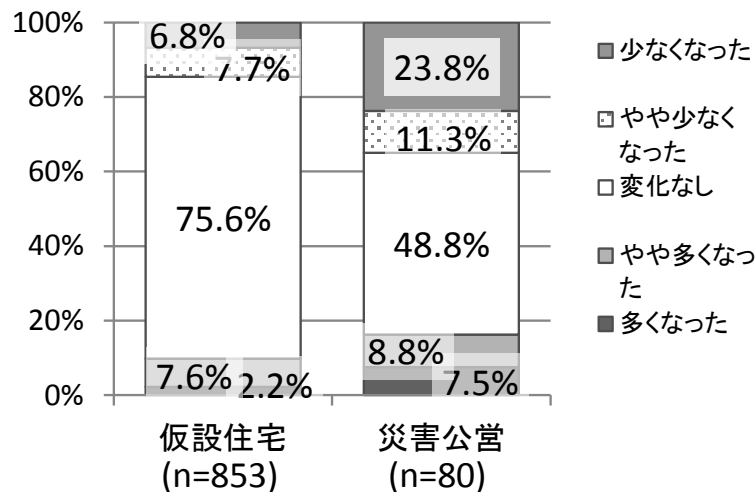
## ○1年前との会話頻度の比較

・1年前との団地内での会話頻度の比較においても、団地内の会話頻度が減少と回答した割合が（「少なくなった」、「やや少なくなった」の合計）が、仮設住宅では14.5%に対し、35.1%と高くなっている。

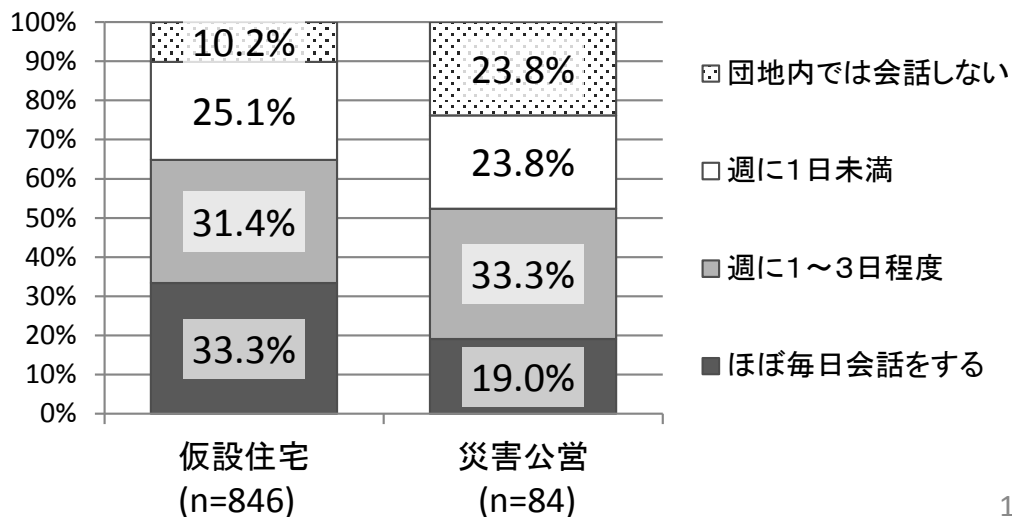
### 集会所・談話室の利用状況



### 1年前との比較: 団地内での会話



### 団地内の会話頻度



## ○キーメッセージ⑩ 災害公営住宅での自治会形成はこれから

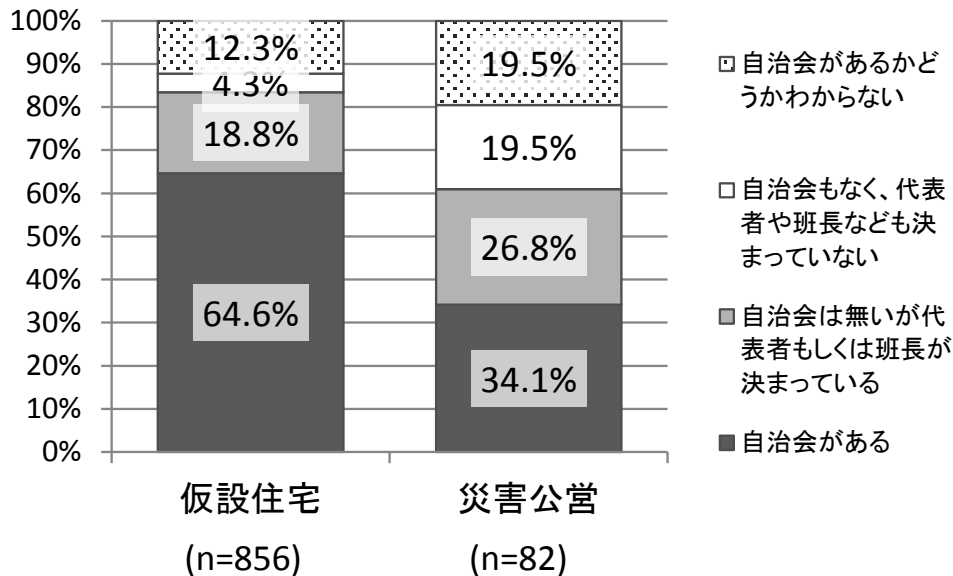
### ○自治会の認知・参加傾向

・自治会の認知および参加傾向について質問をした。

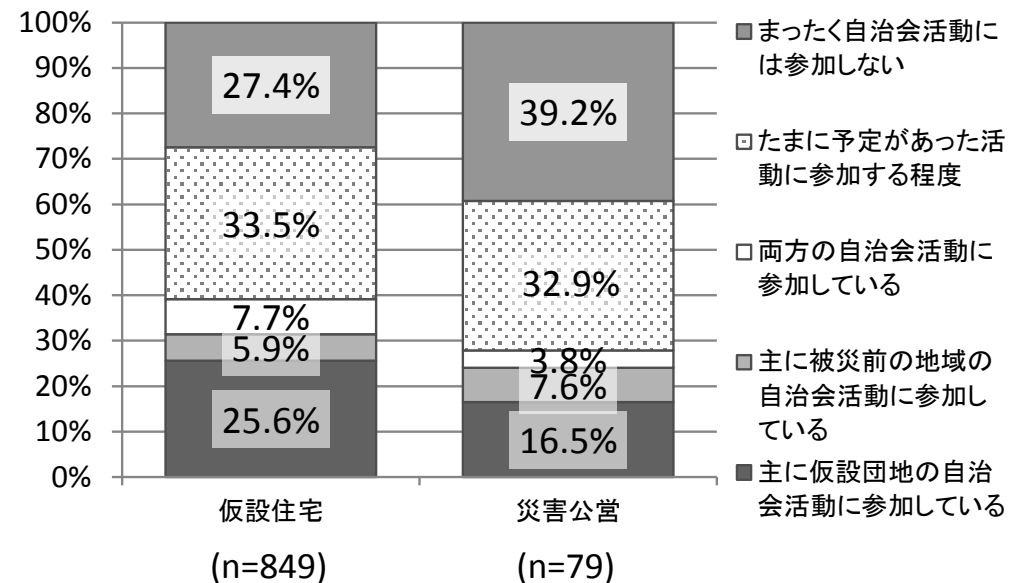
・自治会の認知では、団地内に「自治会がある」と回答した割合が、仮設住宅では64.6%であったのに対し、災害公営住宅は34.1%であった。

・また、自治会への参加傾向においては、「まったく自治会活動に参加していない」割合が、仮設住宅で27.4%であったのに対し、災害公営住宅は39.2%と高い割合を示した。

### 自治会の認知



### 自治会の参加傾向



# ○キーメッセージ⑪ 災害公営住宅は「ソフト重視」の情報ニーズ

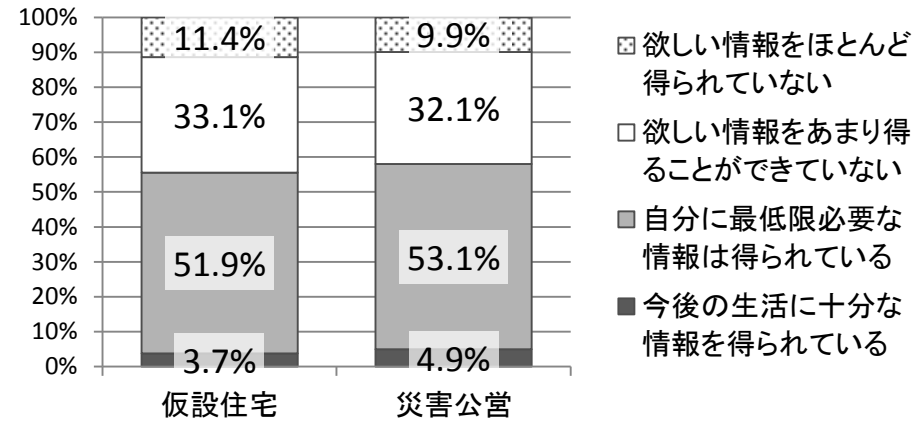
## ○情報満足度

・仮設住宅と災害公営住宅において、復興に関する情報満足度に大きな差は認められなかった。

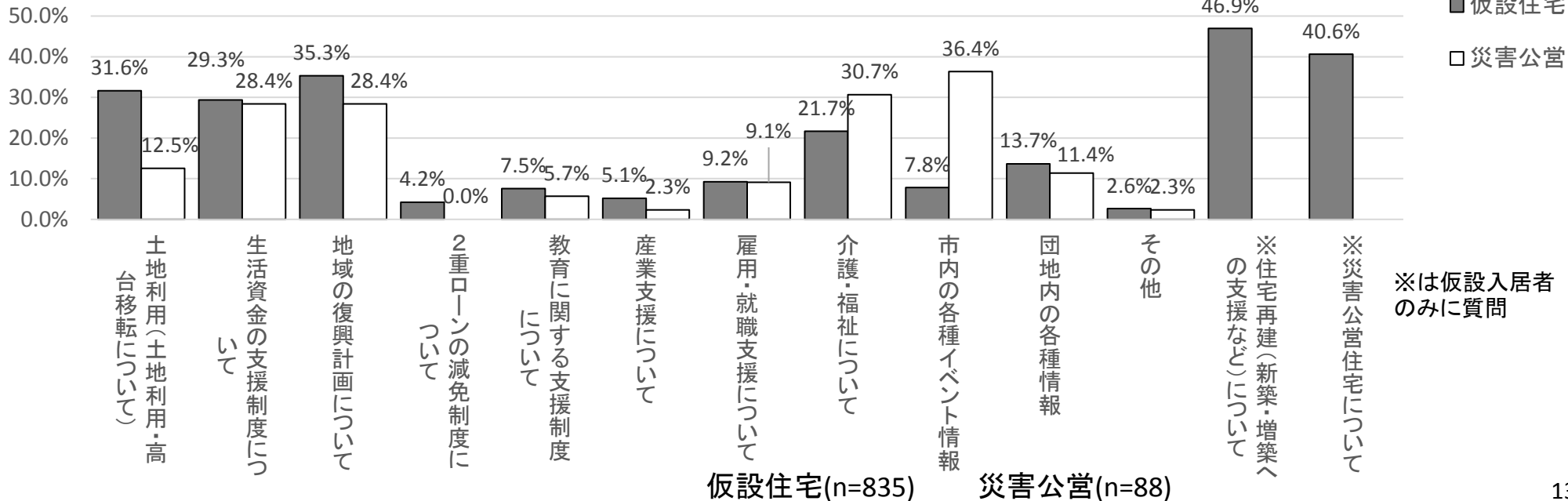
## ○拡充してほしい情報

・拡充してほしい情報に関して質問を行った。  
 ・仮設入居者においては、「住宅再建」や「災害公営住宅」、「土地利用」等、住まいの再建に関する情報ニーズが高かった。  
 ・一方、災害公営住宅入居者においては、「市内の各種イベント情報」、「介護、福祉について」などソフト面に関する回答の割合が高かった。  
 ・双方で高かった項目は「地域の復興計画について」「生活資金の支援制度について」であった。

情報満足度



拡充してほしい情報

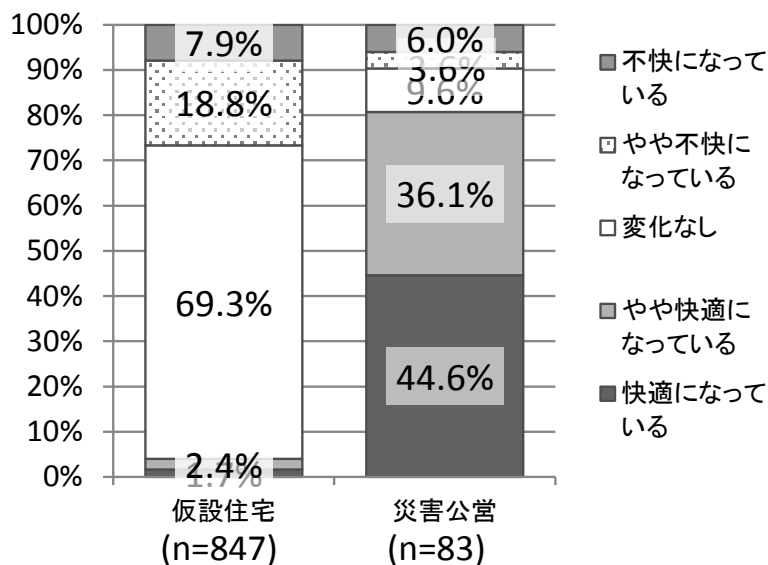


# ○キーメッセージ⑫ 災害公営住宅の快適性は高い

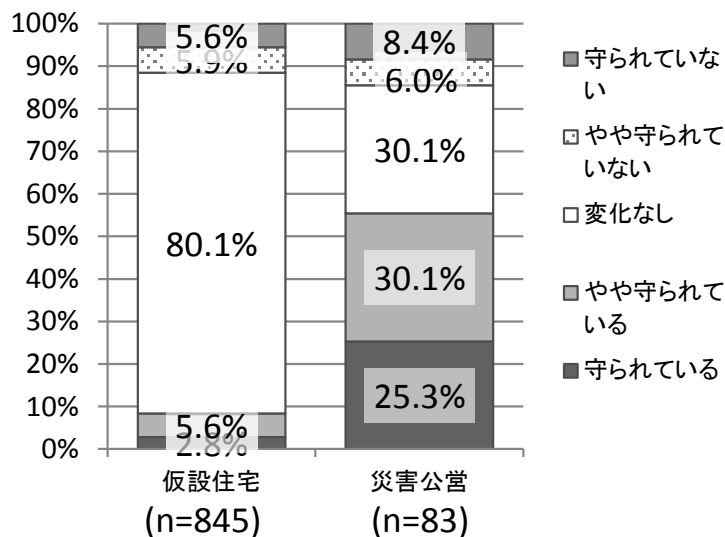
## ○1年前との比較

- ・1年前との生活状況の違い(災害公営住宅においては、仮設住宅での生活との比較)について質問を行った。
- ・住居そのものの快適性においては、災害公営住宅が「快適になっている」「やや快適になっている」の合計が80.7%と住居において高い快適性の評価となった。
- ・また、プライバシーの保護についても災害公営住宅は、「守られている」「やや守られている」の合計が55.4%と半数以上が改善傾向を認めている。
- ・騒音などのトラブルも災害公営住宅は、少なくなったと評価している割合が高まっている一方で、「やや多くなった」「多くなった」の合計も2割を超えている。

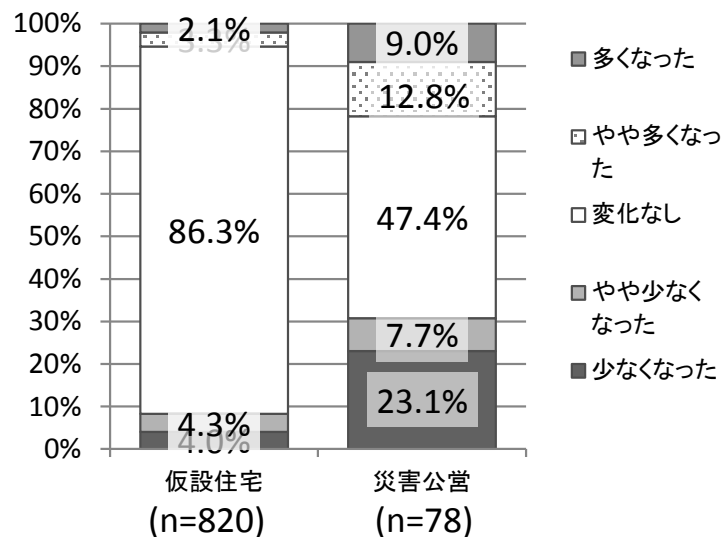
### 1年前との比較:住居の快適性



### 1年前との比較:プライバシー保護



### 1年前との比較:騒音などのトラブル



# ○キーメッセージ⑬ 災害公営住宅での生活利便性は立地による評価

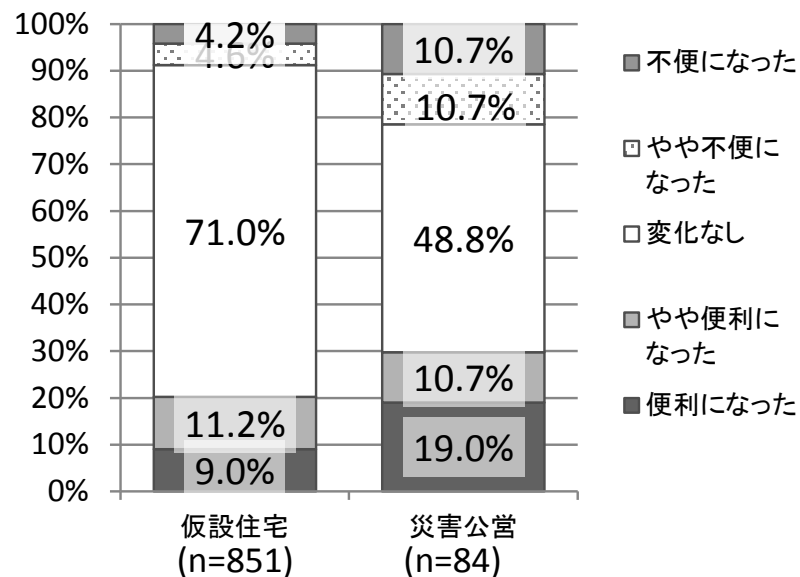
## ○1年前との比較

・1年前との生活状況の違い(災害公営住宅においては、仮設住宅での生活との比較)について質問を行った。

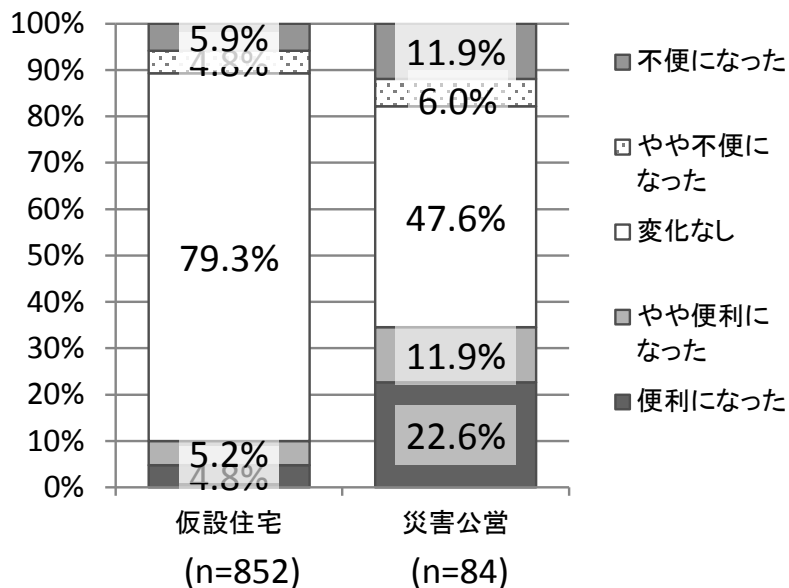
・生鮮食料品の購入、通院の利便性、公共交通の利用とも、災害公営住宅は仮設住宅と比較して、「変化なし」の割合が少なく「やや便利になった」「便利になった」と「やや不便になった」「不便になった」に分かれている。

・また、食料品購入の利便性においては、仮設住宅、災害公営住宅ともに、不便になったと回答する割合より、便利になったと回答する割合の方が高くなっている。

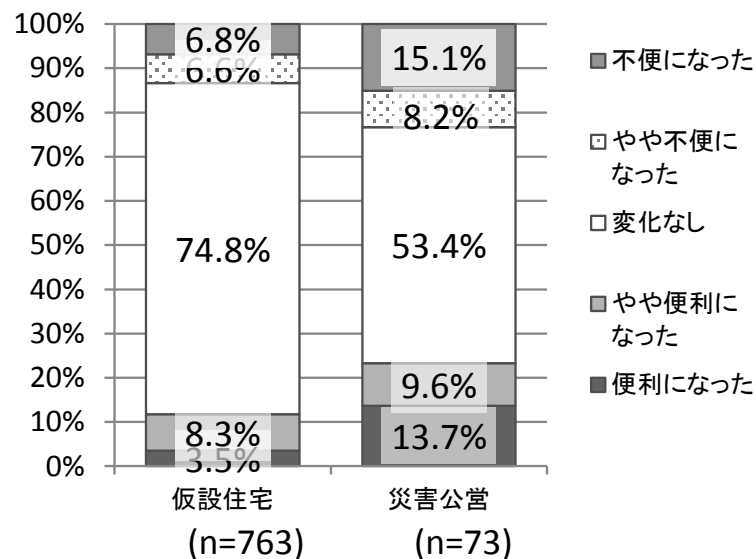
## 1年前との比較・食料品購入の利便性



## 1年前との比較・通院の利便性



## 1年前との比較: 公共交通の利用

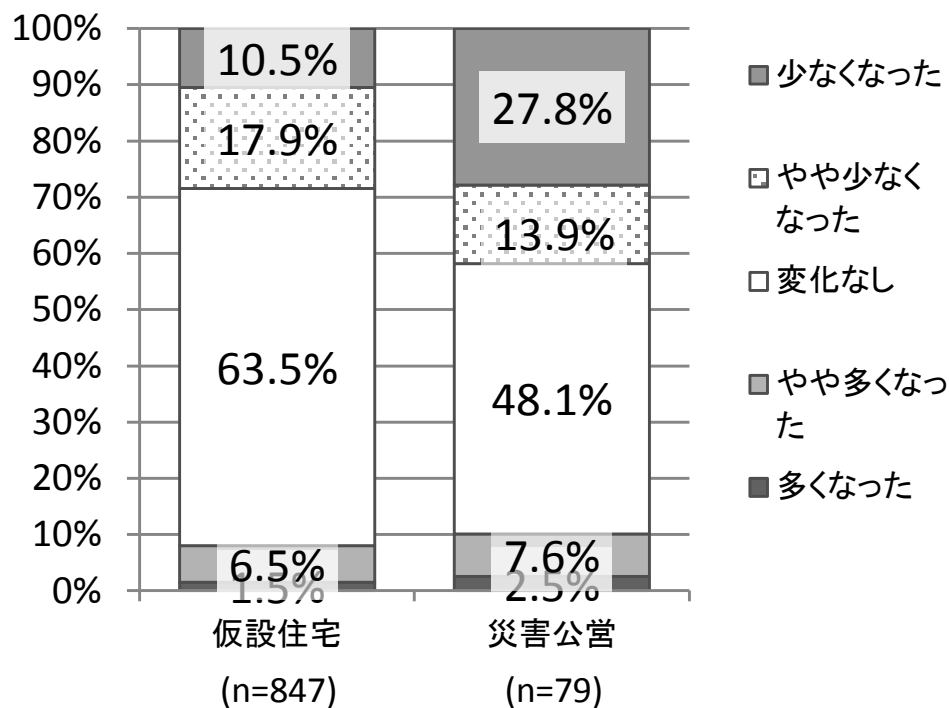


## ○キーメッセージ⑭ 支援者の来訪頻度は減少傾向であり、災害公営は顕著となっている。

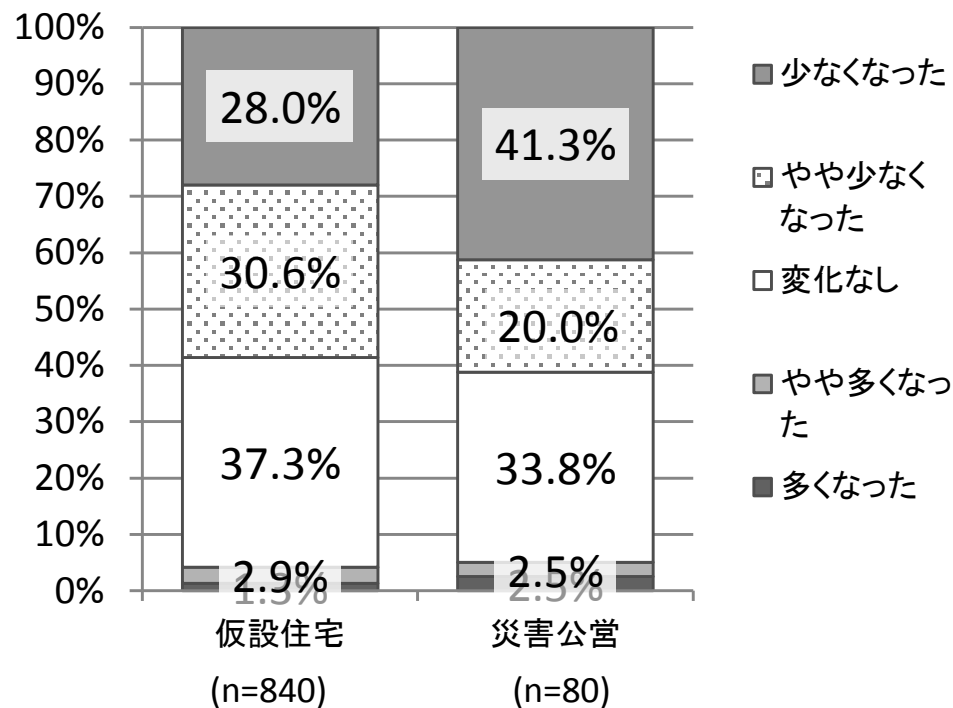
### ○1年前との比較

- ・1年前との生活状況の違い(災害公営住宅においては、仮設住宅での生活との比較)について質問を行った。
- ・仮設住宅、災害公営住宅ともに、保健師、相談員、支援員などの「公的な支援者の来訪」、ボランティアや支援団体などの「民間の支援者の来訪」とも「少なくなった」「やや少なくなった」と回答している割合が、「やや多くなった」「多くなった」と比較して、多くなっている。
- ・この傾向は民間の支援者の来訪において顕著にあらわれている。
- ・さらに災害公営住宅では支援者の来訪が少なくなったと評価する割合が高くなっている。

### 1年前との比較: 公的な支援者来訪



### 1年前との比較: 民間の支援者来訪





# <調査結果報告>

## ○調査結果1(基本属性:市町村別構成)

各市町村の年代別分布は以下のとおりである。

性別	宮古		山田		大槌		釜石		大船渡		陸前高田		総計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
男性	60	54.1%	62	45.3%	70	44.9%	125	56.8%	64	56.6%	80	54.4%	461	52.1%
女性	47	42.3%	73	53.3%	84	53.8%	92	41.8%	47	41.6%	66	44.9%	409	46.3%
未回答	4	3.6%	2	1.5%	2	1.3%	3	1.4%	2	1.8%	1	0.7%	14	1.6%
総計	111		137		156		220		113		147		884	

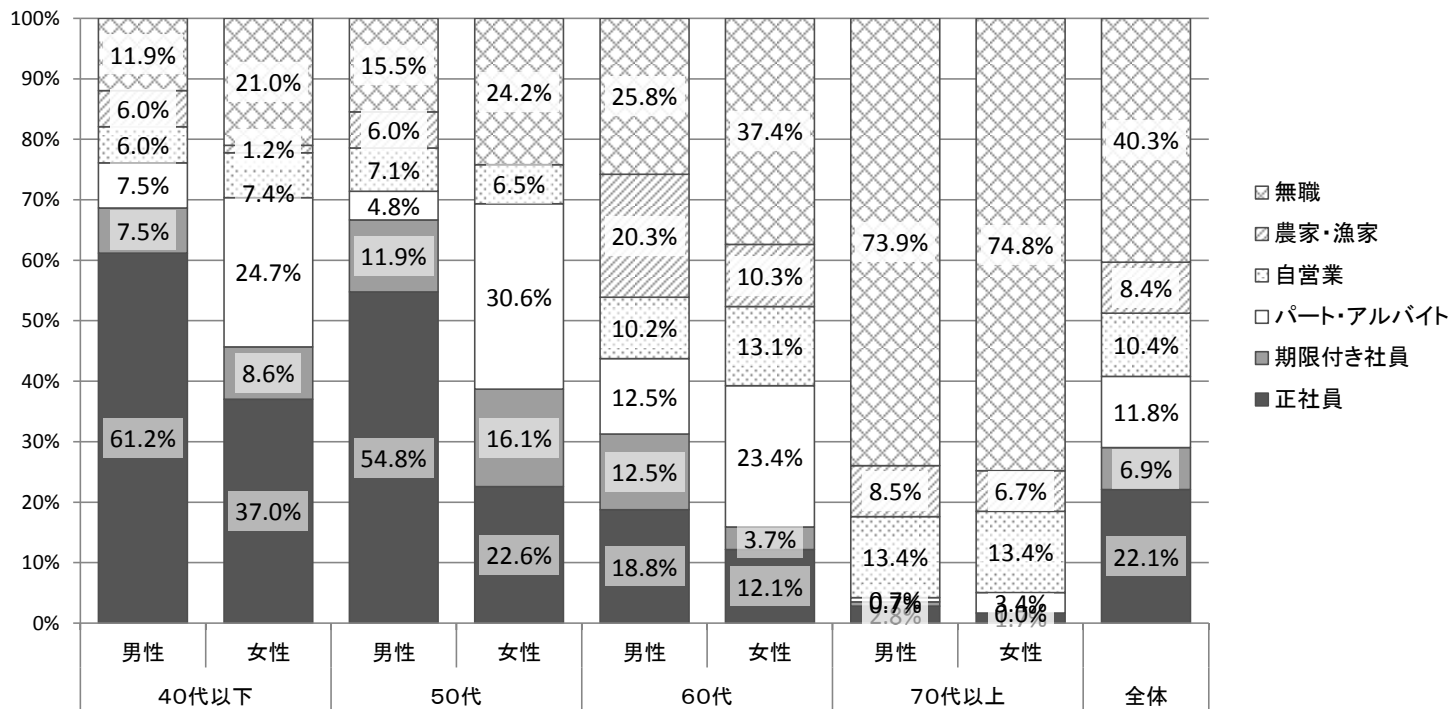
年代	宮古		山田		大槌		釜石		大船渡		陸前高田		総計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代		0.0%		0.0%		0.0%	1	0.5%		0.0%	1	0.7%	2	0.2%
20代	1	0.9%	4	2.9%	2	1.3%	1	0.5%	1	0.9%		0.0%	9	1.0%
30代	5	4.5%	8	5.8%	5	3.2%	7	3.2%	5	4.4%	7	4.8%	37	4.2%
40代	15	13.5%	18	13.1%	18	11.5%	23	10.5%	11	9.7%	22	15.0%	107	12.1%
50代	25	22.5%	19	13.9%	33	21.2%	31	14.1%	19	16.8%	24	16.3%	151	17.1%
60代	32	28.8%	36	26.3%	38	24.4%	65	29.5%	39	34.5%	45	30.6%	255	28.8%
70代以上	30	27.0%	48	35.0%	60	38.5%	86	39.1%	37	32.7%	48	32.7%	309	35.0%
未回答	3	2.7%	4	2.9%		0.0%	6	2.7%	1	0.9%		0.0%	14	1.6%
総計	111		137		156		220		113		147		884	

# ○調査結果3（就業状況）

## 就業の状況

・回答者の就業状況について年代別に整理した。  
40代以下男性で正社員率が61%と最も高く、次いで、50代男性、40代以下女性の順となっている。

・これまでの調査との比較を行うと、50代・60代男性で正社員の割合が、50代女性の期限付き社員、パート・アルバイトの割合が高まっている。



就業状況	40代以下						50代						60代						70代以上						全体		
	男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性					
	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2	2013/2	2013/8	2014/2
正社員	61%	60%	61%	35%	41%	37%	49%	47%	55%	38%	24%	23%	17%	9%	19%	13%	10%	12%	6%	5%	3%	3%	2%	2%	25%	22%	22%
期限付き社員	8%	11%	7%	13%	12%	9%	9%	15%	12%	11%	10%	16%	9%	10%	13%	8%	3%	4%	3%	1%	1%	2%	1%	0%	7%	7%	7%
パート・アルバイト	9%	6%	7%	21%	25%	25%	8%	8%	5%	17%	24%	31%	11%	15%	13%	20%	19%	23%	3%	2%	1%	3%	3%	3%	11%	12%	12%
自営業	5%	8%	6%	8%	4%	7%	12%	10%	7%	5%	14%	6%	10%	13%	10%	7%	12%	13%	6%	6%	13%	5%	5%	13%	7%	8%	10%
農家・漁家	7%	7%	6%	2%	1%	1%	9%	5%	6%	3%	5%	0%	11%	17%	20%	7%	4%	10%	10%	10%	8%	1%	3%	7%	7%	7%	8%
無職	9%	7%	12%	22%	17%	21%	13%	15%	15%	27%	23%	24%	42%	35%	26%	46%	53%	37%	71%	77%	74%	85%	86%	75%	43%	43%	40%
回答者数	75	177	67	101	249	81	86	216	84	64	182	62	119	310	128	90	242	107	96	290	142	96	258	119	807	2162	806

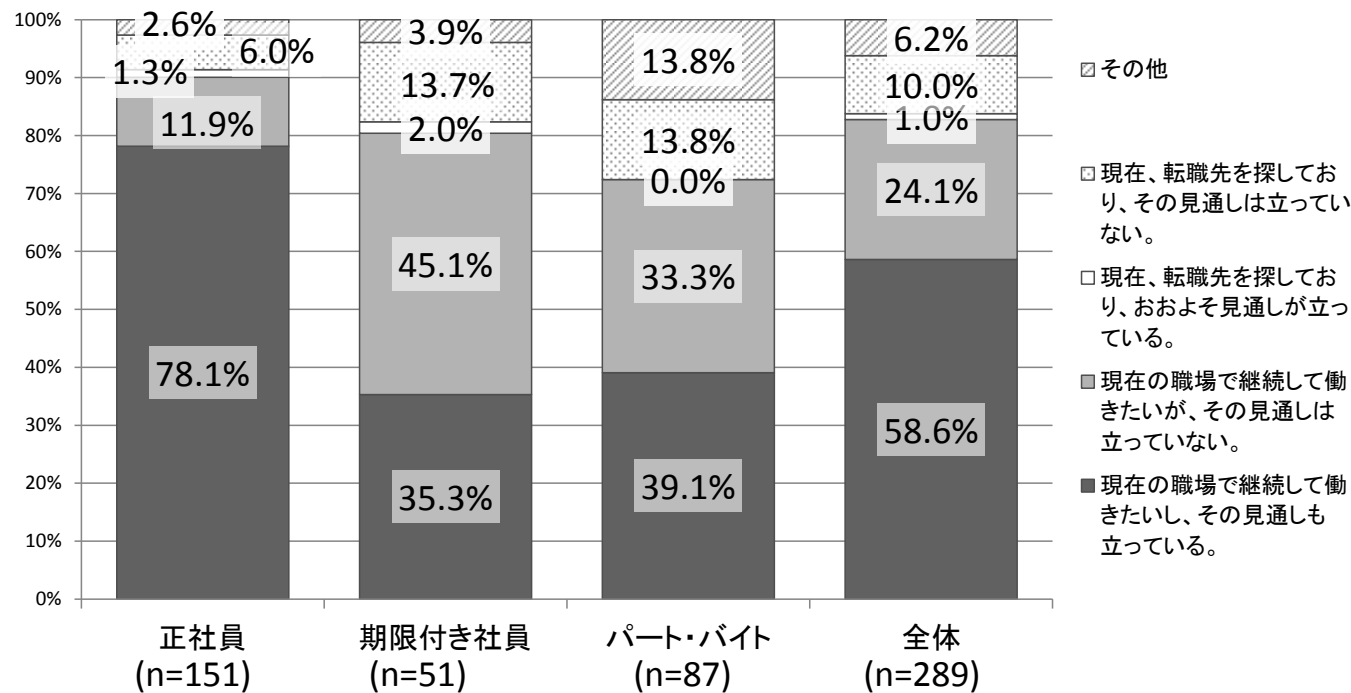
## ○調査結果4（就業状況 正社員・期間雇用・パートにおける就業の見通し）

・正社員・期限付き社員・パート・アルバイトと回答した方を対象に、今後の就業の見通しについて質問をした。

・雇用形態別にみると、期限付き社員の45.1%、パート・アルバイトの33.3%が現在の職場で継続して働きたいが見通しが立っていないと回答している。

・年代別に見ると、40代以下の男性のうち7割以上が継続した就業の見通しが立っているが、60代の男性では、約4割が現在の職場で継続して勤務したいが見通しが立っていない。

就業の見通し(正社員・期間雇用・パート)

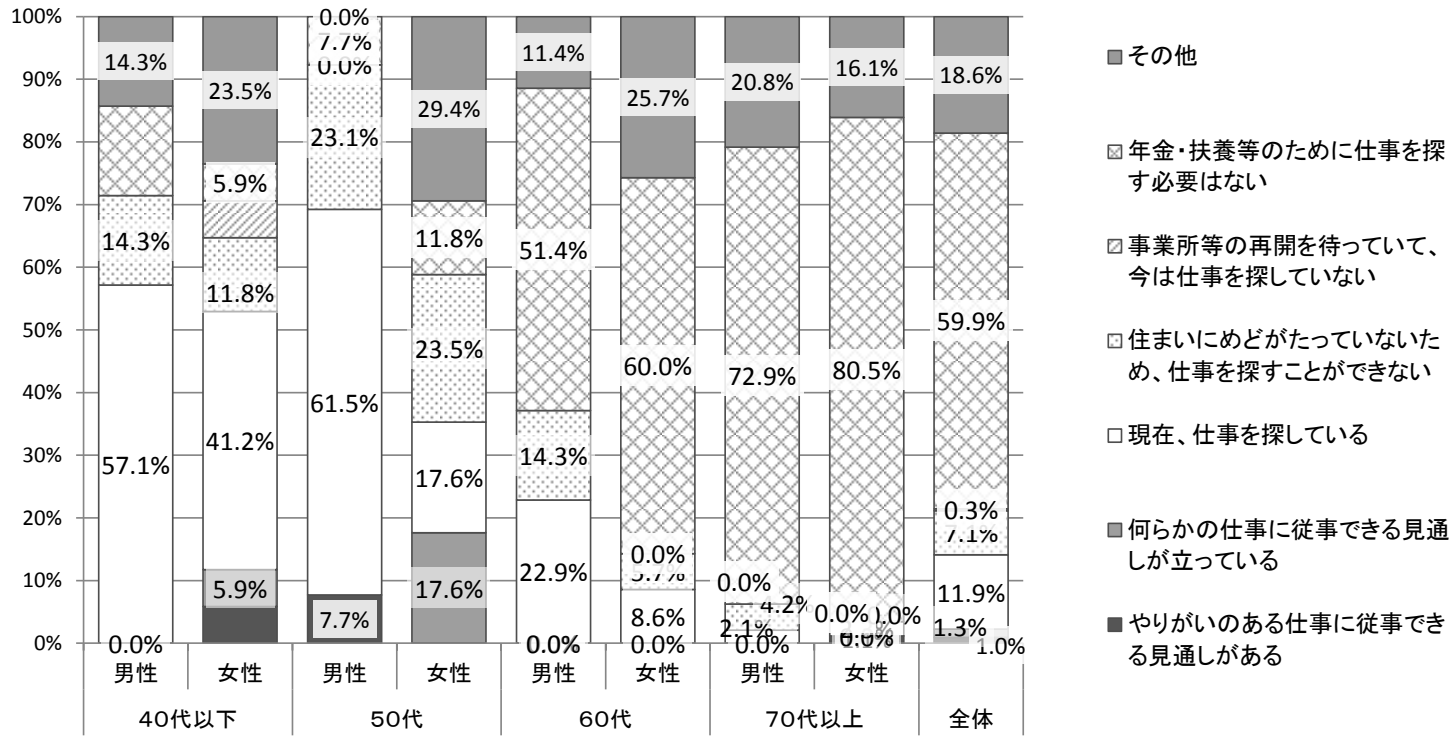


就業の見通し(正職員・期間雇用・パート)	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
現在の職場で継続して働きたいし、その見通しも立っている。	74.5%	57.1%	75.0%	55.0%	42.0%	51.4%	0.0%	0.0%	58.6%
現在の職場で継続して働きたいが、その見通しは立っていない。	4.3%	28.6%	12.5%	22.5%	40.0%	34.3%	66.7%	33.3%	24.1%
現在、転職先を探しており、おおよそ見通しが立っている。	0.0%	2.0%	1.8%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
現在、転職先を探しており、その見通しは立っていない。	12.8%	10.2%	7.1%	15.0%	10.0%	5.7%	33.3%	0.0%	10.0%
その他	8.5%	2.0%	3.6%	5.0%	8.0%	8.6%	0.0%	66.7%	6.2%
回答者数	47	49	56	40	50	35	3	3	290

# ○調査結果5（就業状況 無職者の就業の見通し）

- ・無職の方で、今後の就業の見通しについて質問した。
- ・今回は、回答者が少ないため、参考資料として掲載する。

### 就業の見通し(無職の方)



就業の見通し(無職)	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
やりがいのある仕事に従事できる見通しがある	0.0%	5.9%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.0%
何らかの仕事に従事できる見通しが立っている	0.0%	5.9%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
現在、仕事を探している	57.1%	41.2%	61.5%	17.6%	22.9%	8.6%	2.1%	2.3%	11.9%
住まいにめどがたっていないため、仕事を探すことができない	14.3%	11.8%	23.1%	23.5%	14.3%	5.7%	4.2%	0.0%	7.1%
希望している事業所等の再開を待っている	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
年金・扶養等のために仕事を探す必要はない	14.3%	5.9%	7.7%	11.8%	51.4%	60.0%	72.9%	80.5%	59.9%
その他	14.3%	23.5%	0.0%	29.4%	11.4%	25.7%	20.8%	16.1%	18.6%
回答者数	7	17	13	17	35	35	96	87	312

## ○調査結果7（現在の世帯の主な収入について ※複数回答）

- ・現在の主な収入源を複数回答で質問した。
- ・50代以下では、自分の給料および同居家族の給料の割合が高く、60代以上では、年金の割合が高い。

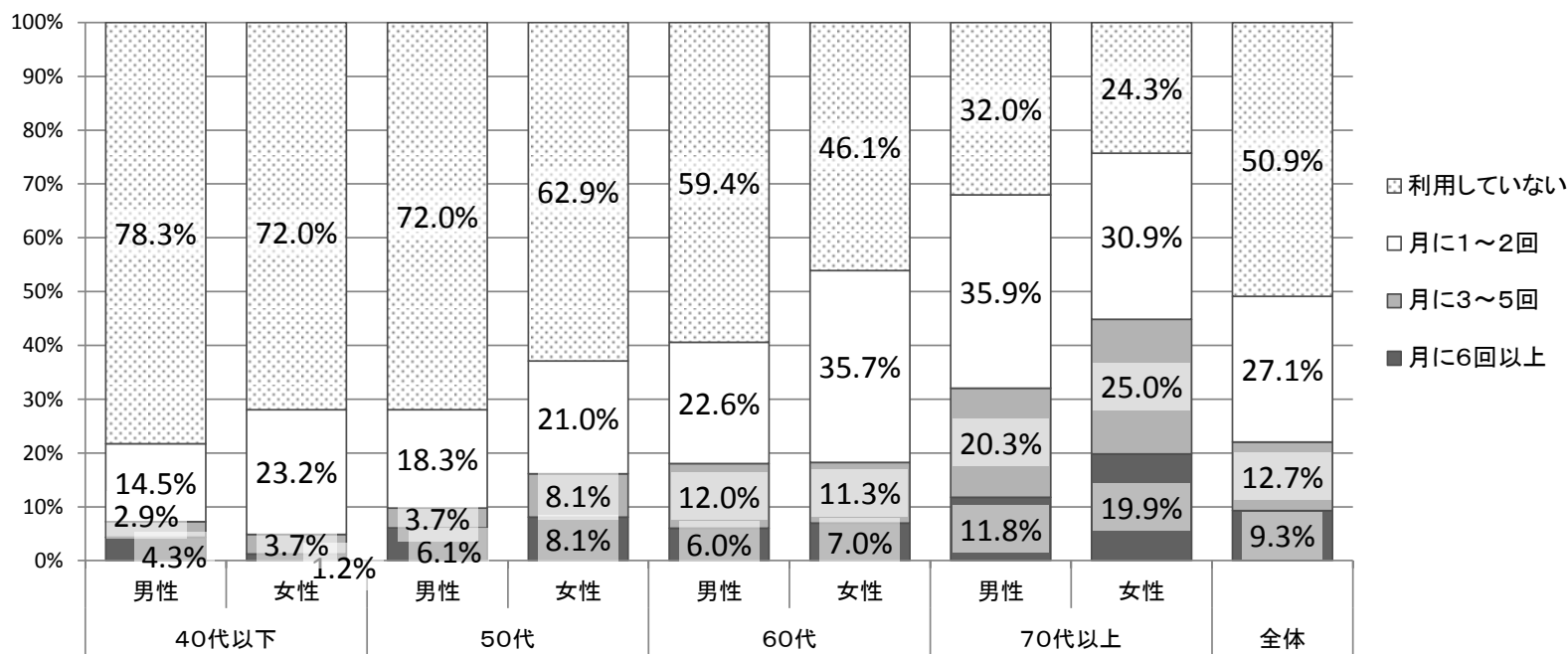
主な生活資金	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
自分の給料	84.1%	54.3%	77.4%	53.1%	48.5%	38.5%	4.3%	1.4%	37.8%
同居家族の給料	30.4%	50.6%	21.4%	53.1%	10.3%	23.1%	10.6%	13.4%	22.2%
別居家族の給料	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%	0.6%
親族等からの援助	1.4%	2.5%	0.0%	3.1%	1.5%	2.6%	0.6%	0.7%	1.4%
雇用保険・休業手当	0.0%	2.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.5%
年金	10.1%	19.8%	11.9%	20.3%	53.7%	68.4%	93.8%	88.0%	55.9%
貯金	11.6%	9.9%	9.5%	15.6%	6.6%	13.7%	10.6%	7.7%	10.0%
生活保護等	0.0%	1.2%	2.4%	0.0%	2.2%	1.7%	0.0%	2.8%	1.4%
その他	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	3.7%	3.4%	3.1%	1.4%	2.1%
回答者数	69	81	84	64	136	117	161	142	870

## ○調査結果8 (コミュニティ:集会所・談話室の利用頻度)

・集会所の利用頻度について質問した。

・70代以上女性の44.9%、70代以上男性も32.1%が概ね週1回以上(月6回以上、月3~5回の合算)集会所を利用しており、70代女性は、約75%が月1回以上集会所・談話室を利用しているなど、高齢であるほど、また女性であるほど、集会所を活用している。

### 集会所・談話室の利用状況



集会所・談話室の利用頻度	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
月に6回以上	4.3%	1.2%	6.1%	8.1%	6.0%	7.0%	11.8%	19.9%	9.3%
月に3~5回	2.9%	3.7%	3.7%	8.1%	12.0%	11.3%	20.3%	25.0%	12.7%
月に1~2回	14.5%	23.2%	18.3%	21.0%	22.6%	35.7%	35.9%	30.9%	27.1%
利用していない	78.3%	72.0%	72.0%	62.9%	59.4%	46.1%	32.0%	24.3%	50.9%
回答者数	69	82	82	62	133	115	153	136	849

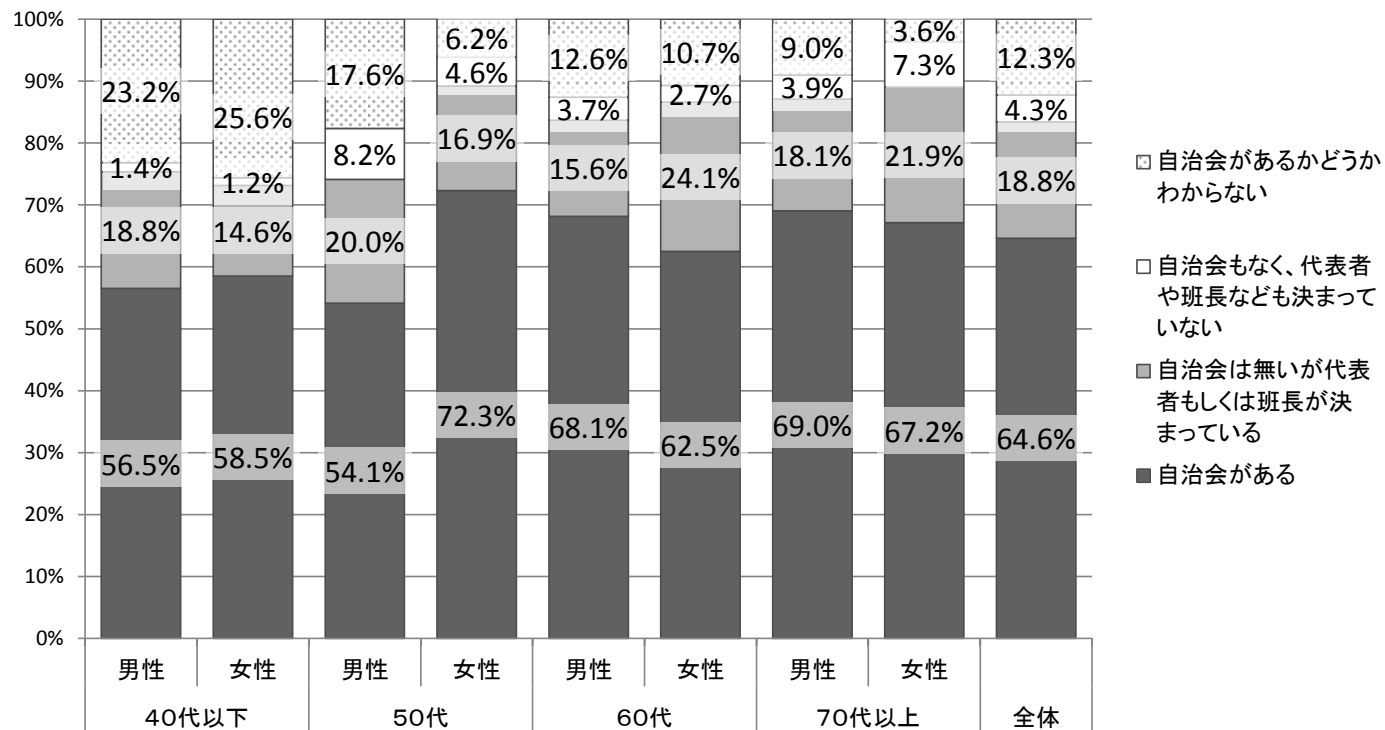
# ○調査結果11（自治会の認知）

・自治会、代表者に関する認知について質問した。

・全体の64.6%が自治会があると回答し、代表者が定められていると回答した18.8%と合わせ、約83.4%では、仮設団地内に自治のための組織があることを認知している。

・年代別に見ると、40代以下では、「自治会があるかどうか分からない」と回答した割合が、他年代と比較し、高くなっている。

### 自治会の認知



自治会の認知	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
自治会がある	56.5%	58.5%	54.1%	72.3%	68.1%	62.5%	69.0%	67.2%	64.6%
自治会はないが代表者もしくは班長が決まっている	18.8%	14.6%	20.0%	16.9%	15.6%	24.1%	18.1%	21.9%	18.8%
自治会もなく、代表者や班長なども決まっていない	1.4%	1.2%	8.2%	4.6%	3.7%	2.7%	3.9%	7.3%	4.3%
自治会があるかどうか分からない	23.2%	25.6%	17.6%	6.2%	12.6%	10.7%	9.0%	3.6%	12.3%
回答者数	69	82	85	65	135	112	155	137	856



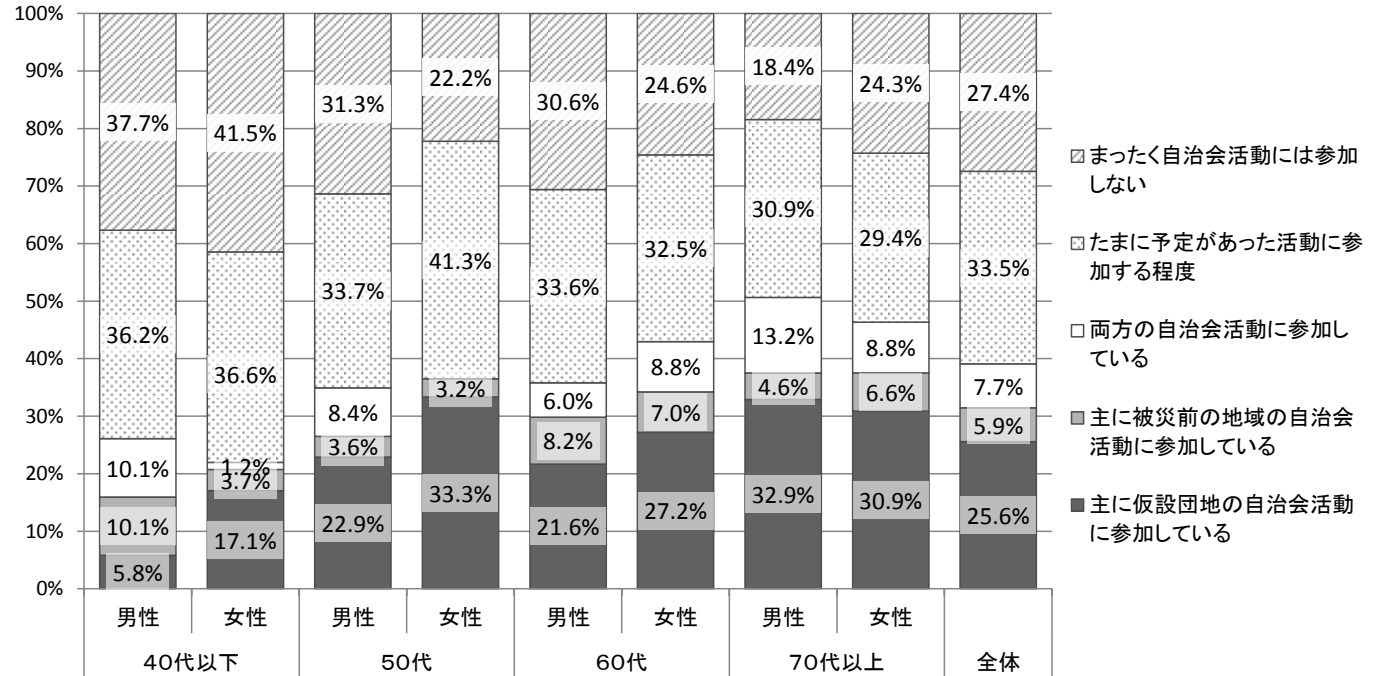
## ○調査結果12（自治会活動への参加）

・自治会への参加状況について質問した。

・全体の25.6%が「主に仮設団地の自治会へ参加している」と回答し、7.7%が「仮設団地、被災前の両方の自治会に参加している」と回答した。

・年代別に見ると、40代以下では、男女とも「まったく自治会に参加していない」と回答する割合が約4割と高くなっている。

### 自治会活動への参加状況

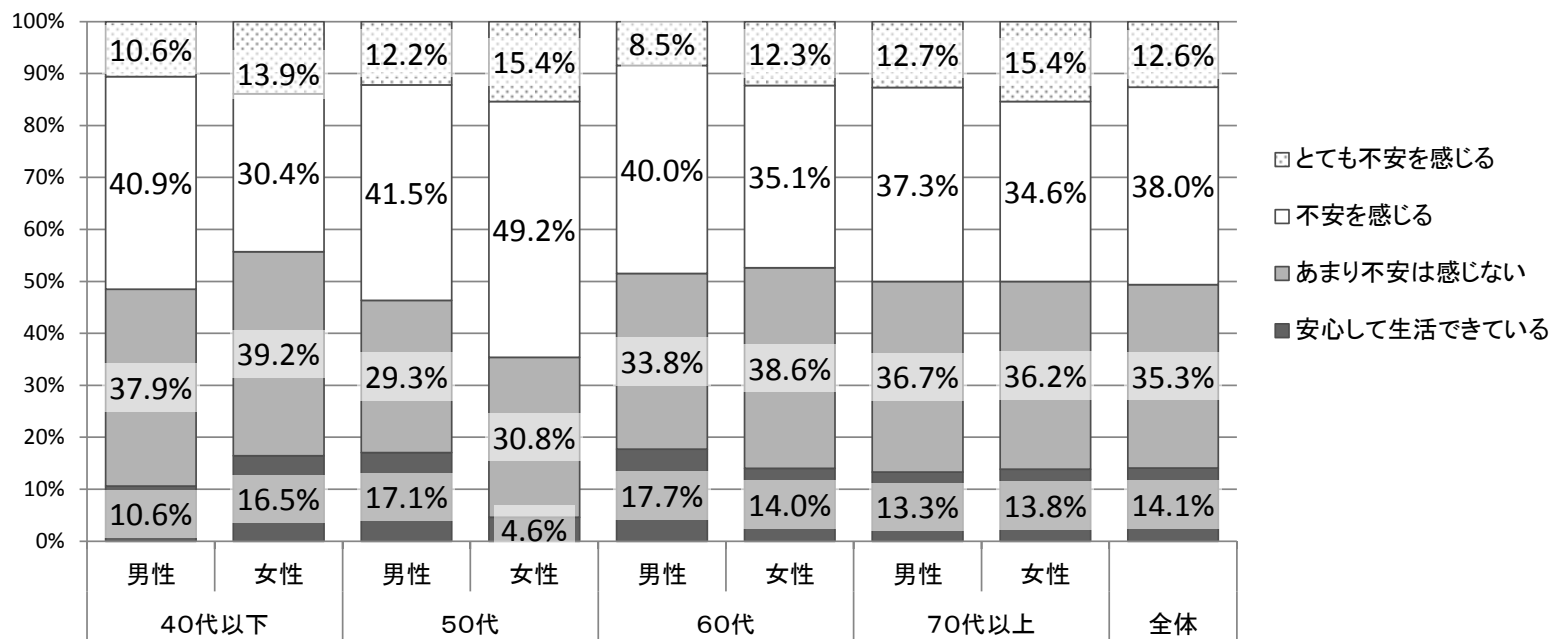


自治会活動への参加	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
主に仮設団地の自治会活動に参加している	5.8%	17.1%	22.9%	33.3%	21.6%	27.2%	32.9%	30.9%	25.6%
主に被災前の地域の自治会活動に参加している	10.1%	3.7%	3.6%	3.2%	8.2%	7.0%	4.6%	6.6%	5.9%
両方の自治会活動に参加している	10.1%	1.2%	8.4%	0.0%	6.0%	8.8%	13.2%	8.8%	7.7%
たまに予定があった活動に参加する程度	36.2%	36.6%	33.7%	41.3%	33.6%	32.5%	30.9%	29.4%	33.5%
まったく自治会活動には参加しない	37.7%	41.5%	31.3%	22.2%	30.6%	24.6%	18.4%	24.3%	27.4%
回答者数	69	82	83	63	134	114	152	136	849

## ○調査結果14（生活満足度：生活への安心度・不安の有無）

- ・生活安心度について質問した。
- ・全体では「不安を感じる」が38.0%、「とても不安を感じる」が12.6%となっており、約半数が不安を感じている状況である。

### 生活の安心度

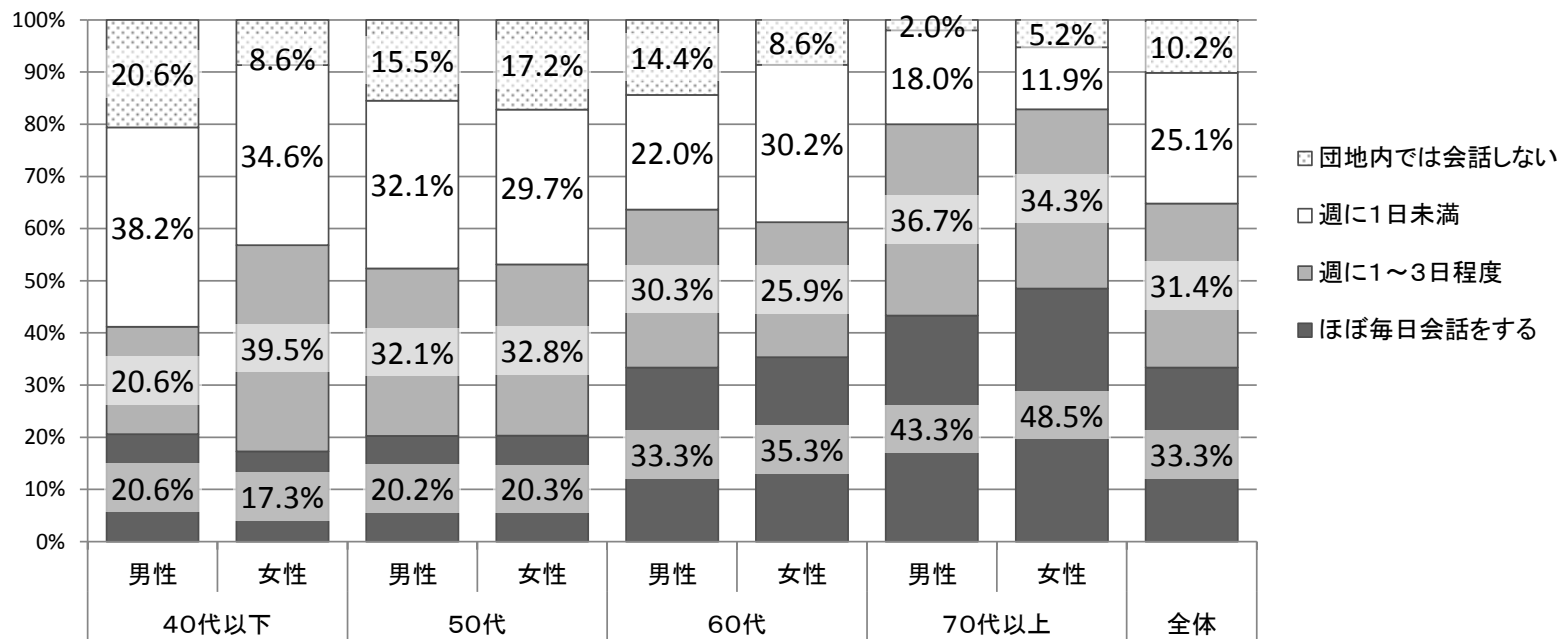


生活安心度	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
安心して生活できている	10.6%	16.5%	17.1%	4.6%	17.7%	14.0%	13.3%	13.8%	14.1%
あまり不安は感じない	37.9%	39.2%	29.3%	30.8%	33.8%	38.6%	36.7%	36.2%	35.3%
不安を感じる	40.9%	30.4%	41.5%	49.2%	40.0%	35.1%	37.3%	34.6%	38.0%
とても不安を感じる	10.6%	13.9%	12.2%	15.4%	8.5%	12.3%	12.7%	15.4%	12.6%
回答者数	66	79	82	65	130	114	150	130	832

## ○調査結果15(対人関係:仮設団地内での会話頻度)

- ・団地内の会話頻度について、質問した。
- ・全体の33.3%が「団地内でほぼ毎日会話する」と回答しており、年代が高いほど団地内での会話頻度は高い。
- ・また、40代以下の男性では、20.6%が「団地内では会話しない」と回答している。

### 団地内における会話の状況

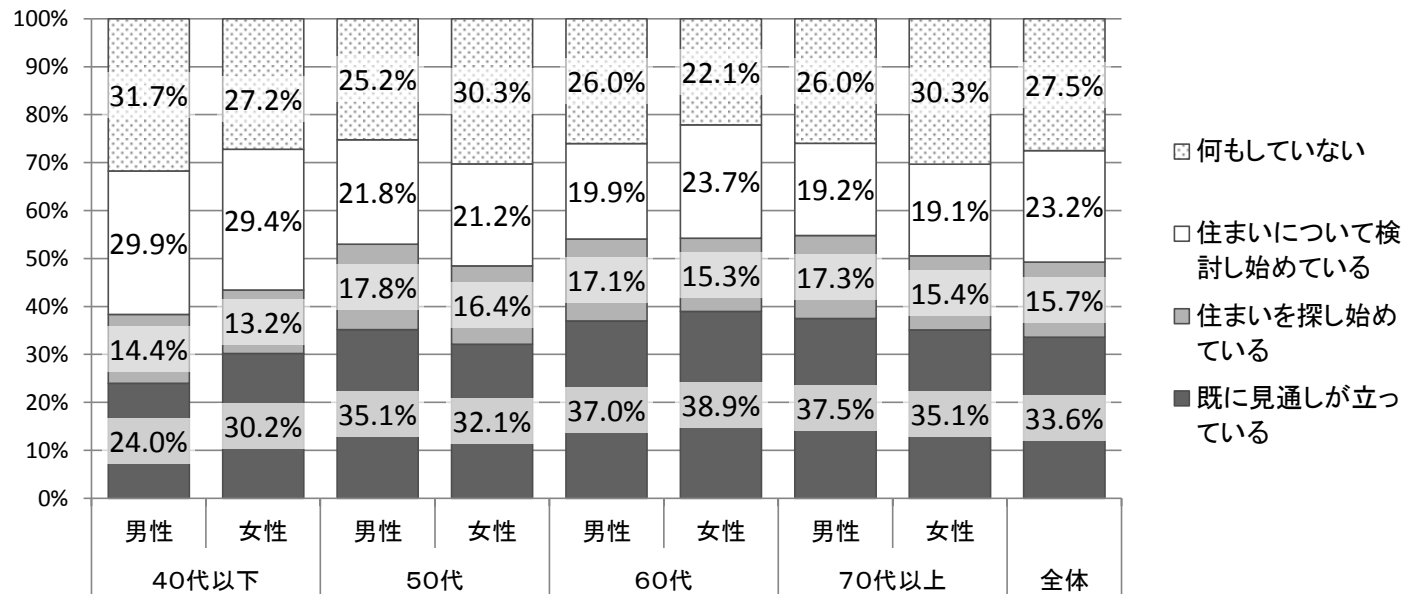


団地内での会話頻度	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
ほぼ毎日会話をする	20.6%	17.3%	20.2%	20.3%	33.3%	35.3%	43.3%	48.5%	33.3%
週に1~3日程度	20.6%	39.5%	32.1%	32.8%	30.3%	25.9%	36.7%	34.3%	31.4%
週に1日未満	38.2%	34.6%	32.1%	29.7%	22.0%	30.2%	18.0%	11.9%	25.1%
団地内では会話しない	20.6%	8.6%	15.5%	17.2%	14.4%	8.6%	2.0%	5.2%	10.2%
回答者数	68	81	84	64	132	116	150	134	846

## ○調査結果16（住まいの見通し）

- ・今後の住まいの見通しについて、質問した。
- ・全体の33.6%が「既に見通しが立っている」と回答した。
- ・年代別においては、40代以下で見通しが立っている割合が低い傾向となっている。

### 住まいの見通し



住まいの見通し	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
既に見通しが立っている	26.7%	40.3%	42.5%	36.5%	37.7%	39.5%	41.9%	46.2%	39.2%
住まいを探し始めている	26.7%	11.1%	21.9%	17.5%	23.6%	17.4%	22.6%	23.1%	20.3%
住まいについて検討し始めている	20.0%	26.4%	23.3%	17.5%	21.7%	19.8%	18.3%	12.3%	20.0%
何もしていない	26.7%	22.2%	12.3%	28.6%	17.0%	23.3%	17.2%	18.5%	20.5%
回答者数	60	72	73	63	106	86	93	65	630

## ○調査結果17（住まいの見通し ※具体的な見通し）

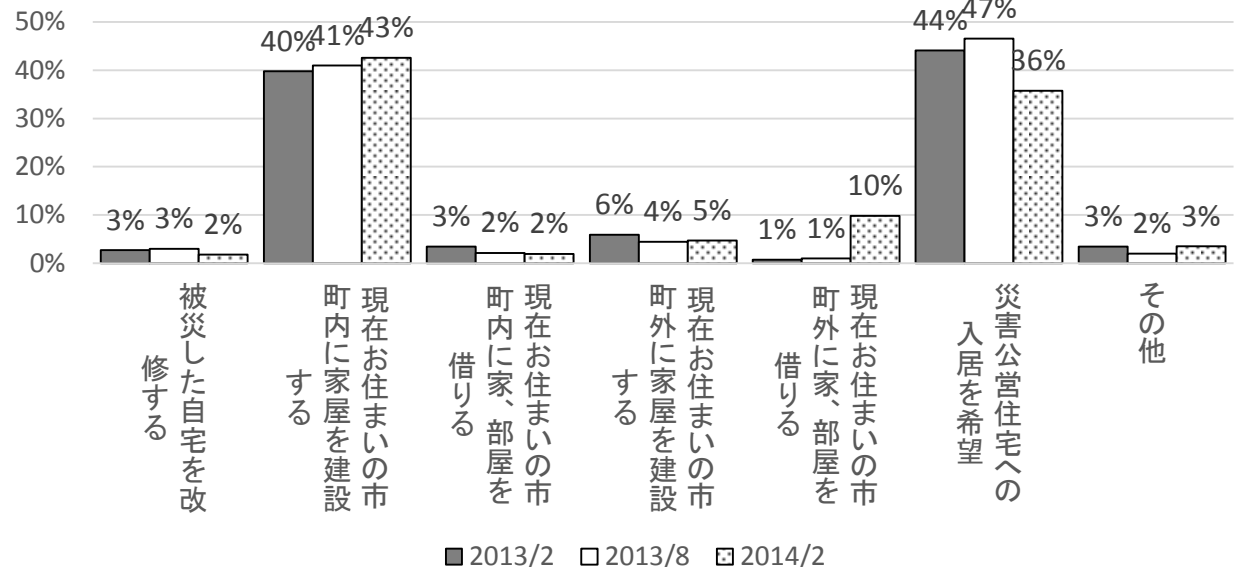
・住まいの見通しについて「既に見通しが立っている」「住まいを探し始めている」の回答者へ、具体的な住まいの見通しについて質問した。

・見通しが立っている方の43%が現在の市町村内に自宅を新築する予定であり、また全体の36%が災害公営住宅への入居を希望している。

・見通しが立っている方の15%が市町外への転居を希望している。

・前回調査との比較においては、現在住んでいる市町村外に家、部屋を借りる割合が高まっており、災害公営に入居をする割合が低くなっている。

住まいの具体的な見通し



具体的な住まいの見通し	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
被災した自宅を改修する	2.6%	0.0%	1.8%	2.9%	1.1%	1.4%	1.7%	2.7%	1.7%
現在お住まいの市町内に家屋を建設する	47.4%	35.6%	50.9%	58.8%	45.1%	28.2%	47.9%	35.1%	42.6%
現在お住まいの市町内に家、部屋を借りる	0.0%	4.4%	7.3%	0.0%	1.1%	1.4%	1.7%	0.0%	1.9%
現在お住まいの市町外に家屋を建設する	5.3%	4.4%	5.5%	2.9%	5.5%	4.2%	5.1%	3.6%	4.7%
現在お住まいの市町外に家、部屋を借りる	15.8%	13.3%	3.6%	11.8%	8.8%	15.5%	9.4%	5.4%	9.8%
災害公営住宅への入居を希望	26.3%	40.0%	23.6%	20.6%	35.2%	39.4%	34.2%	50.5%	35.8%
その他	2.6%	2.2%	7.3%	2.9%	3.3%	9.9%	0.0%	2.7%	3.5%
回答者数	38	45	55	34	91	71	117	111	573

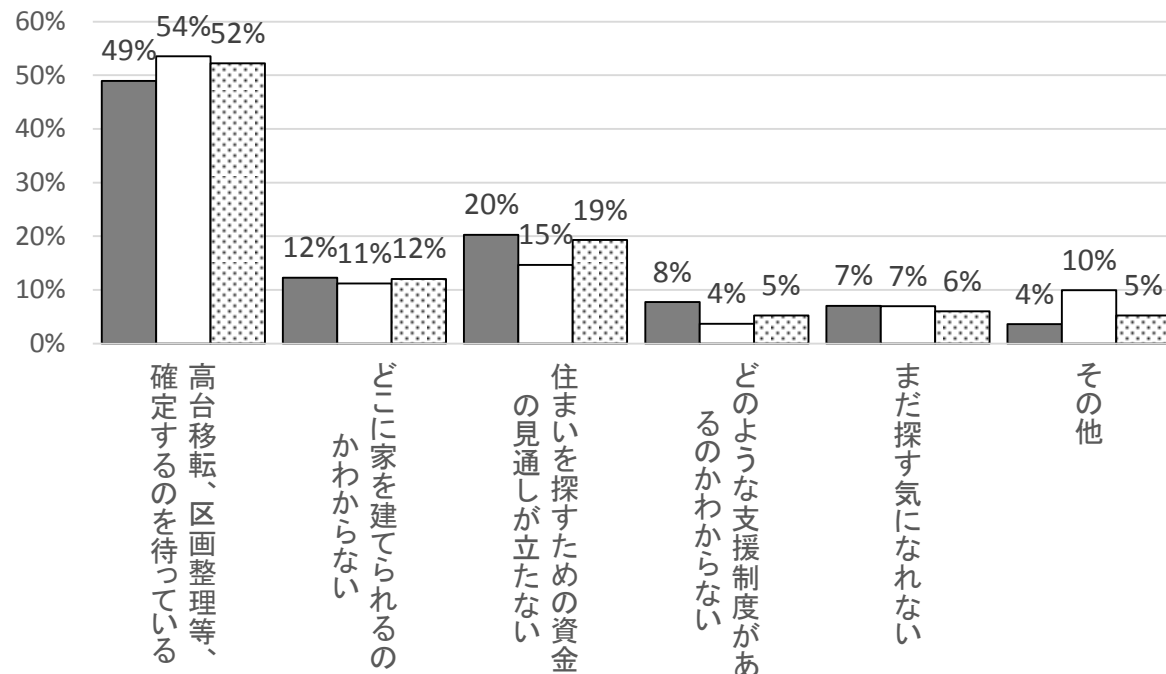
# ○調査結果18（住まいの見通し※見通しの立たない理由）

・住まいの見通しについて「検討し始めている」「何もしていない」の回答者へ見通しが立たない理由を質問した。

・見通しが立たない理由では、52%が「高台移転、区画整理等、確定するのを待っている」と回答しており、最も高かった。

・前回調査と回答はほぼ同じ傾向を示している。

見通しの立たない理由



■ 2013/2 □ 2013/8 ▨ 2014/2

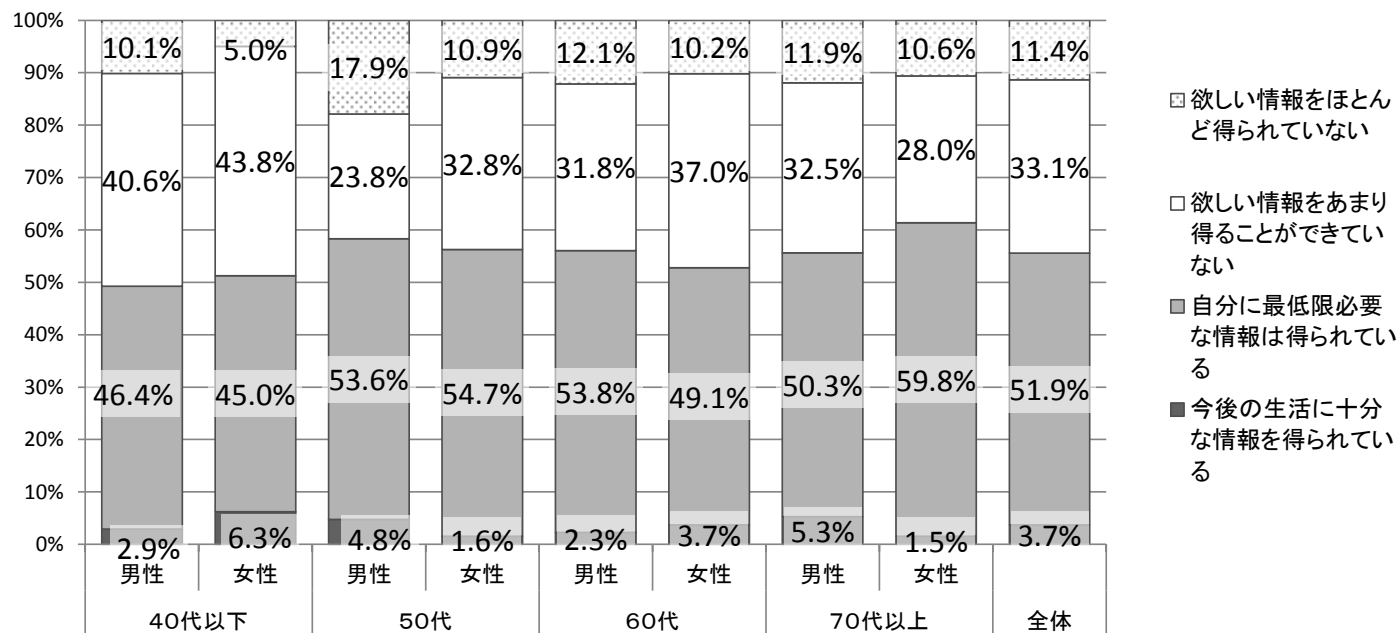
住まいの見通しの立たない理由	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
高台移転、区画整理等、確定するのを待っている	44.4%	51.5%	52.0%	44.4%	61.5%	55.3%	48.6%	59.1%	52.2%
どこに家を建てられるのかわからない	11.1%	18.2%	20.0%	11.1%	5.1%	13.2%	11.4%	4.5%	12.0%
住まいを探すための資金の見通しが立たない	25.9%	18.2%	20.0%	25.9%	25.6%	10.5%	20.0%	9.1%	19.3%
どのような支援制度があるのかわからない	7.4%	3.0%	4.0%	7.4%	2.6%	5.3%	5.7%	9.1%	5.2%
まだ探す気になれない	3.7%	3.0%	4.0%	3.7%	5.1%	13.2%	5.7%	9.1%	6.0%
その他	7.4%	6.1%	0.0%	7.4%	0.0%	2.6%	8.6%	9.1%	5.2%
回答者数	27	33	25	27	39	38	35	22	249

## ○調査結果21（情報収集満足度）

・復興に向けた情報収集の満足度について質問した。

・復興・生活再建に必要な情報に関しては、全体では「今後の生活に十分な情報を得られている」が3.7%、「自分に最低限必要な情報は得られている」が51.9%である一方、全体の44.5%は欲しい情報を得ることができていないと回答している。

情報満足度



情報満足度	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
今後の生活に十分な情報を得られている	2.9%	6.3%	4.8%	1.6%	2.3%	3.7%	5.3%	1.5%	3.7%
自分に最低限必要な情報は得られている	46.4%	45.0%	53.6%	54.7%	53.8%	49.1%	50.3%	59.8%	51.9%
欲しい情報をあまり得ることができていない	40.6%	43.8%	23.8%	32.8%	31.8%	37.0%	32.5%	28.0%	33.1%
欲しい情報をほとんど得られていない	10.1%	5.0%	17.9%	10.9%	12.1%	10.2%	11.9%	10.6%	11.4%
回答者数	69	80	84	64	132	108	151	132	837



## ○調査結果22(より拡充して欲しい情報)

・今後、拡充して欲しい情報について複数回答で、質問を行った。

・拡充して欲しい情報では、「住宅再建(新築・増築への支援など)について」が最も高く、次いで「災害公営住宅について」、「地域の復興計画について」、「土地利用(土地利用・高台移転について)」となっており、前回調査と同様の傾向を示している。

・年代別の特徴においては、70代以上では介護・福祉に関する情報、また、40代以下では、教育に関する支援制度に関する情報、40代以下・50代では、住宅再建に関する情報ニーズが他年代と比較して高くなっている。

拡充してほしい情報	40代以下		50代		60代		70代以上		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
土地利用(土地利用・高台移転について)	36.8%	36.4%	42.0%	39.3%	37.0%	30.0%	25.0%	19.3%	31.6%
住宅再建(新築・増築への支援など)について	61.8%	50.6%	63.0%	63.9%	43.7%	41.8%	42.1%	33.3%	46.9%
災害公営住宅について	27.9%	41.6%	39.5%	36.1%	39.3%	49.1%	35.5%	49.6%	40.6%
2重ローンの減免制度について	5.9%	6.5%	2.5%	6.6%	5.9%	1.8%	5.3%	1.5%	4.2%
生活資金の支援制度について	41.2%	33.8%	32.1%	34.4%	25.9%	29.1%	29.6%	21.5%	29.3%
産業支援について	7.4%	3.9%	12.3%	1.6%	4.4%	3.6%	4.6%	5.2%	5.1%
雇用・就職支援について	13.2%	23.4%	16.0%	11.5%	11.1%	5.5%	2.6%	3.0%	9.2%
地域の復興計画について	50.0%	36.4%	43.2%	45.9%	36.3%	30.0%	31.6%	28.1%	35.3%
教育に関する支援制度について	14.7%	22.1%	8.6%	11.5%	4.4%	1.8%	5.9%	3.7%	7.5%
介護・福祉について	11.8%	9.1%	6.2%	21.3%	17.0%	18.2%	33.6%	36.3%	21.7%
市内の各種イベント情報	13.2%	9.1%	6.2%	13.1%	5.9%	2.7%	7.2%	9.6%	7.8%
仮設住宅団地内の各種情報	11.8%	11.7%	16.0%	16.4%	10.4%	9.1%	13.8%	20.7%	13.7%
その他	1.5%	3.9%	1.2%	0.0%	3.0%	3.6%	3.9%	1.5%	2.6%
回答者数	68	77	81	61	135	110	152	135	835

拡充して欲しい情報

